

**第5次越谷市総合振興計画の策定
越谷市都市計画マスタープランの改定に伴う
団体・事業所アンケート調査
【報告書】**

令和元年（2019年）11月

越谷市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査実施の目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査期間.....	1
4. 団体アンケート.....	1
①調査手法.....	1
②回収状況.....	1
③調査項目.....	1
5. 事業所アンケート.....	2
①調査手法.....	2
②回収状況.....	2
③調査項目.....	2
II. 団体アンケートの調査結果	3
1. 団体の運営状況.....	3
2. 団体の活動について.....	5
3. まちの将来像について.....	7
III. 事業所アンケートの調査結果	8
1. 事業所の運営状況.....	8
2. 立地条件について.....	11
3. 事業活動について.....	13
4. まちの将来像について.....	17
IV. 参考資料	18
①団体アンケートの記述全文.....	18
②事業所アンケートの記述全文.....	40
V. 調査票	44
①団体アンケート.....	44
②事業所アンケート.....	49

I. 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、本市の長期的かつ総合的なまちづくりの指針となる第5次総合振興計画の策定及び都市計画の基本的な方向性を定める都市計画マスタープランの改定にあたり、多くの市民の参加を得るとともに、市民ニーズを踏まえた計画とすることが重要であることから、市内各種団体及び事業所のまちづくりに対する意見等を把握するため、団体・事業所アンケート調査を実施した。

2. 調査方法

郵送法（郵送配布・郵送回収）

3. 調査期間

令和元年9月27日～令和元年10月23日

4. 団体アンケート

①調査手法

- (1) 調査対象：市内で活動する下記分野の団体
 - ・市民、人権、行財政運営、保健、医療、子育て、福祉、社会保障
 - ・都市計画、都市施設、住宅、環境、危機管理、消防、産業、雇用
 - ・教育、生涯学習・文化、スポーツ・レクリエーション
- (2) 対象団体数：186団体
- (3) 抽出方法：下記①～⑤に該当する団体（329団体）より抽出
 - ①越谷市制施行60周年記念事業推進市民委員会委員選出母体団体
 - ②市内で活動するNPO団体
(情報：埼玉県ホームページ-埼玉県NPO情報ステーションNPOコバトンびん)
 - ③市の活動に関する協定を締結している団体
 - ④「審議会等の設置及び運用に関する要綱」の対象となっている審議会等の委員選出団体
 - ⑤その他、計画の策定（改定）に関わりのある団体

②回収状況

	票数	回収率
配布数	186	
回収数	105	56.45%
有効回収数	105	56.45%

③調査項目

- (1) 団体の運営状況（問1～問5）
- (2) 団体の活動について（問6～問8）
- (3) まちの将来像について（問9）

5. 事業所アンケート

①調査手法

- (1) 調査対象：市内事業所（7,831事業所）
- (2) 対象事業所数：130事業所
- (3) 抽出方法：法人市民税情報より無作為抽出

②回収状況

	票数	回収率
配布数	130	
回収数	45	34.61%
有効回収数	45	34.61%

③調査項目

- (1) 事業所の運営状況（問1～問5）
- (2) 立地条件について（問6～問7）
- (3) 事業活動について（問8～問10）
- (4) まちの将来像について（問11）

II. 団体アンケートの調査結果

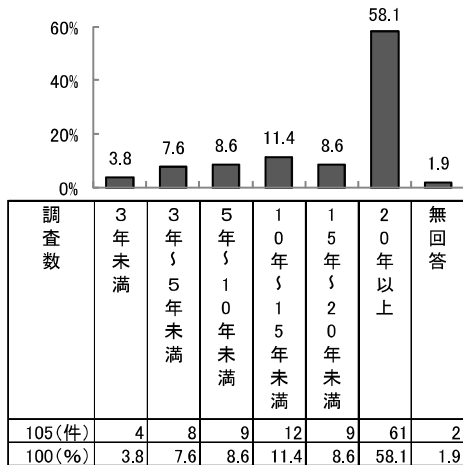
1. 団体の運営状況

①団体の名称

問1 団体の名称を教えてください。(一)

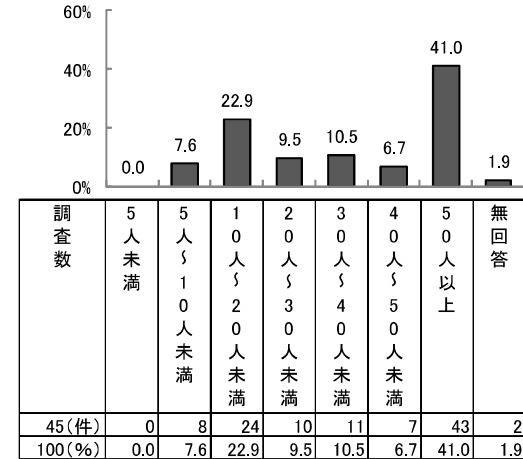
②設立からの年数

問2 設立して何年になりますか。(1つに〇)



③会員数

問3 会員数は何人ですか。(1つに〇)



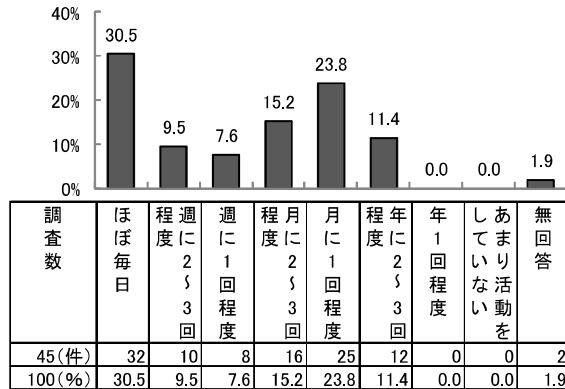
④活動内容

問4 活動内容を教えてください。(下の枠内に記入してください。)

- ・ 会員の研修・指導、連絡・地域社会貢献活動、消費者保護を目的とした活動。
 - ・ 埼玉県の理学療法の普及向上、埼玉県民の医療・保健・福祉の増進。
 - ・ 市民祭りへの参加、各種文化活動、産業フェスタへの参加、ボランティア、レシピコンテストへの参加、地域貢献、田んぼアートへの参加。
 - ・ 障がい児・者への発達・学習支援、相談、セミナー。余暇活動は休止中。
 - ・ 精神上の障がいにより事理を弁識する能力を欠く状態の人などの成年後見人等を組織として受任する。
 - ・ 中小企業の経営の支援。
 - ・ 学校薬剤師、麻薬撲滅、薬学部学生実務実習受け入れ。
 - ・ 食・環境・たすけあいについての学習会、イベント、それに関する会議等。
 - ・ サッカー教室をはじめ、スポーツイベント企画開催をし、地域の方達への野外自然教室やダイエットプログラムの提供等を行っています。
 - ・ 生コンクリートの共同受注および共同販売。
- など

⑤活動頻度

問5 活動頻度はどれくらいですか。(最も近いもの1つに○)



2. 団体の活動について

①課題や悩み

「若者の参加が少なく、活動メンバーが高齢化している」が44.8%と最も多く、次いで「活動メンバーが少ない、新しいメンバーの参加が少ない」が39.0%、「活動するための資金が少ない」が36.2%、「活動に対する市民や地域住民の関心が低い」が24.8%となっている。

問6 あなたの団体が抱えている課題や悩みは何ですか。(3つまで○)

調査数	105	100.0%	0%	50%
若者の参加が少なく、活動メンバーが高齢化している	47	44.8%	44.8	
活動メンバーが少ない、新しいメンバーの参加が少ない	41	39.0%	39.0	
活動するための資金が少ない	38	36.2%	36.2	
活動に対する市民や地域住民の関心が低い	26	24.8%	24.8	
活動内容がマンネリ化しており、停滞している	24	22.9%	22.9	
活動の紹介や情報発信をする機会が少ない	23	21.9%	21.9	
活動する場所の確保が難しい	17	16.2%	16.2	
他の団体とのネットワークや交流をもつ機会が少ない	12	11.4%	11.4	
課題や悩みはない	3	2.9%	2.9	
その他	11	10.5%	10.5	
無回答	3	2.9%	2.9	

②団体活動における越谷市の強み・弱み

問7 団体活動に取り組まれている中で感じる「越谷市の強み(良い点、いかすべき点)」、「越谷市の弱み(悪い点、改善が必要な点)」があれば教えてください。(下の枠内に記入してください。)

(強み)

- ・人口が多い。
- ・<市民力が高い>市民の自主性を活かし、様々な事業に繋げるよう、支援する。事業を開催する側と、受ける側のマッチングをする機能が欲しい。<人口が多い>
- ・古き良き時代から、日光街道の宿場町として、商業・農業・地場産業の流通が盛んで町全体の団結力がある。
- ・市民活動支援センターや男女共同参画支援センターで支援や助言、会議室の提供をしてもらえることは大変ありがたいと思います。
- ・東京、千葉、茨城、神奈川からも交通アクセスが良い。優秀な市民、人材が豊かである。多様な国の人々が生活している(スカイツリーラインに乗ると良くわかります)。歴史的な文化を持っている。

など

(弱み)

- ・資金の提供や、しきみが少ない。しらこぼと基金はあるが、使いづらい。もっと柔軟な対応があると良い。建物や施設の指定管理者があっていない。
- ・越谷市は南北に長い地形なので公共施設の配置は検討すべきと考えます。
- ・各会場の予約や支払いをネットですべて行うことができない(現地に行く必要あり)。仕事をしながら活動している人もいることを考えてほしい。今日、ボランティアだけでできる日中ヒマな人はいない。ITをもっと活用すべき(Web会議など)。
- ・地域別で、新しく越谷に転入してきた方と昔から住んでいる方との交流も少なく、関係性が希薄である。高層住宅も多く、災害など有事の際にすぐに逃げられない方も一定数いる。

など

③強みのいかし方、弱みの解決方法

問8 将来、よりよいまちづくりを進めるため、「越谷市の強み」をいかしたり、「越谷市の弱み」を解決するために、あなたの団体が現在取り組んでいること、これから取り組みたいことはありますか。(下の枠内に記入してください。)

- ・かねてより越谷は安全で、安心な、協働の町づくりを推進してきました。わたくしども組合もその一端を担い、町の防災、耐震、未来ある子供たちの健やかな成長を願い、建築を通じて臨んでおります。これからはそれら建築物の無理のない保存とリノベーション性能を引き上げ古き良き街の面影を生かしたまちづくりに協力、取り組んで参りたいと思います。
- ・近年、地震のみならず豪雨などといった自然災害も増加しており、災害時に備えた防災システムづくりや、地域住民の関係性の強化が必要である。そのため、地域担当制による住民福祉活動の支援体制を強化し、ふれあいサロン開設の促進や福祉推進員の増員及び活動の充実

など

3. まちの将来像について

①10年後、20年後に望む越谷市のイメージ

「子育てしやすく教育環境が良いまち」が37.1%と最も多く、次いで「地震、水害、火災などに備えた災害に強いまち」が34.3%、「水辺や緑など自然環境の良いまち」・「高齢者や障がい者などに優しい福祉環境が整ったまち」が28.6%となっている。

問9 10年後、20年後の越谷市がどのようなイメージのまちになれば良いと思いますか。(3つまで○)

調査数	105	100.0%	0%	50%
子育てしやすく教育環境が良いまち	39	37.1%		37.1
地震、水害、火災などに備えた災害に強いまち	36	34.3%		34.3
水辺や緑など自然環境の良いまち	30	28.6%		28.6
高齢者や障がい者などに優しい福祉環境が整ったまち	30	28.6%		28.6
地域コミュニティが形成され、住民活動が活発なまち	26	24.8%		24.8
産業活動が活発で、雇用環境が充実したまち	23	21.9%		21.9
医療機関や保健サービスが充実したまち	21	20.0%		20.0
誰もが利用しやすい、交通サービスが充実したまち	20	19.0%		19.0
歴史のおもかげと新しい文化が融合したまち	14	13.3%		13.3
道路、河川、下水道、公園などの都市施設が充実したまち	13	12.4%		12.4
生涯学習施設や文化施設が充実したまち	9	8.6%		8.6
防犯、交通安全の取り組みが充実したまち	6	5.7%		5.7
買い物やグルメが楽しめるまち	5	4.8%		4.8
地域資源を活用した、多くの人が訪れる観光のまち	4	3.8%		3.8
その他	7	6.7%		6.7
無回答	7	6.7%		6.7

②まちづくりへの意見・提案

問10 越谷市のまちづくりについて、ご意見やご提案（アイデア）等お持ちでしたら教えてください。（下の枠内に記入してください。）

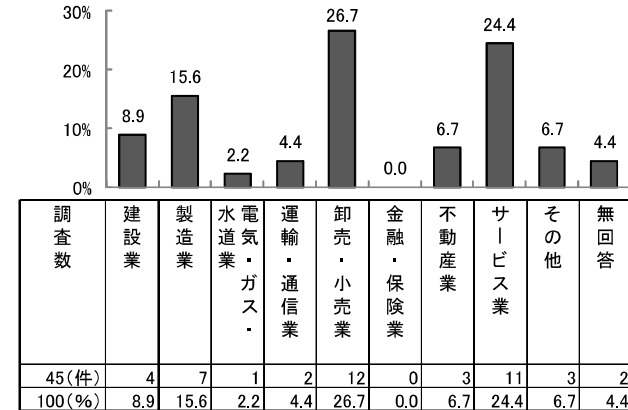
- ・高校卒業～40歳ぐらいまでの若者政策についての文言を加えてほしい。“若者が生きがいをもって暮らせる街越谷”例：就労支援、結婚支援、出会いの場等。
- ・県立大、文教大、越谷保専、他の教育福祉、リハの養成、研究機関の存在に加え、独協医大HSPもあり、これらのネットワークで何ができるのかアイデアを出し、取り組んでいけると良いと思う。
- ・少子化で学校を閉鎖するのではなく、半分老人施設、半分小学校として共有する等、全国にいくらかでも好事例があるので、ぜひ取り入れてほしい。
- ・新庁舎をはじめほかの施設や道路など新設される場合は、ぜひ障がい者団体に青写真を見せていただきたい（バリアフリー新法に基づいた建設や改善）など

Ⅲ. 事業所アンケートの調査結果

1. 事業所の運営状況

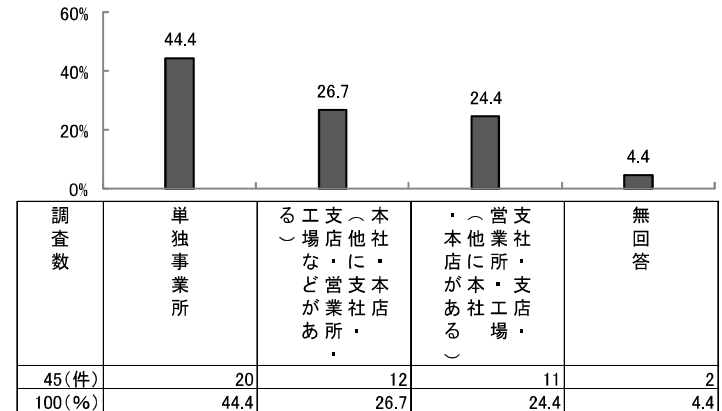
①業種

問1 事業所の業種を教えてください。（1つに○）



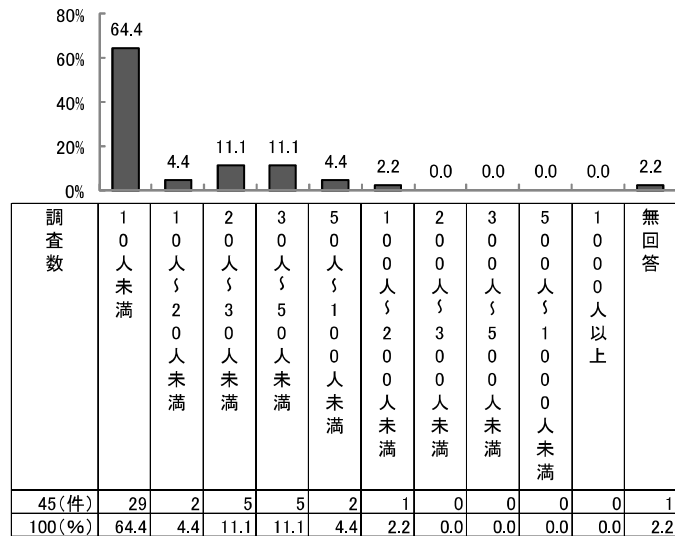
②事業所の形態

問2 事業所の形態を教えてください。（1つに○）



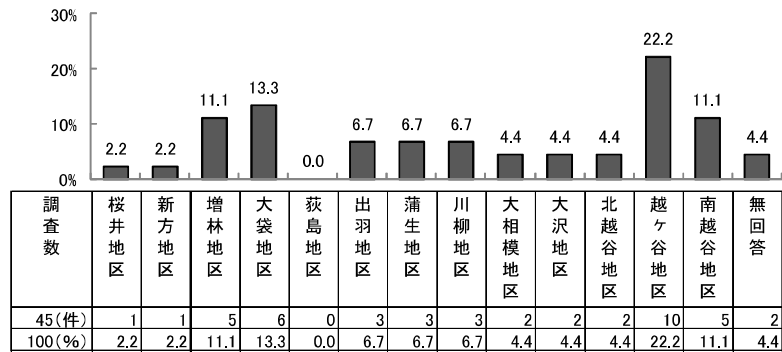
③従業員数

問3 事業所の従業員数（パート・アルバイト含む）を教えてください。（1つに〇）



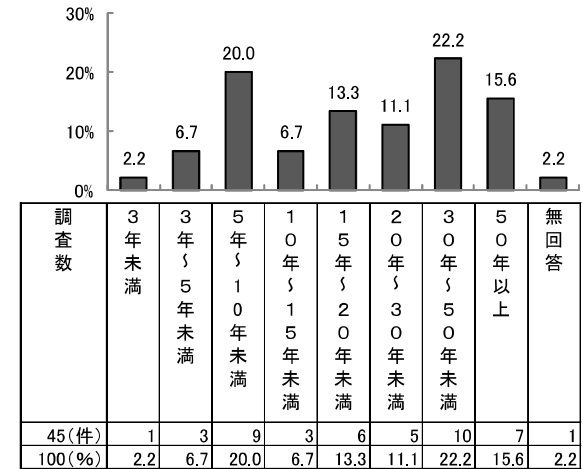
④所在地

問4 事業所の所在地を教えてください。（1つに〇）



⑤操業（営業）年数

問5 事業所の市内での操業（営業）年数を教えてください。（1つに〇）

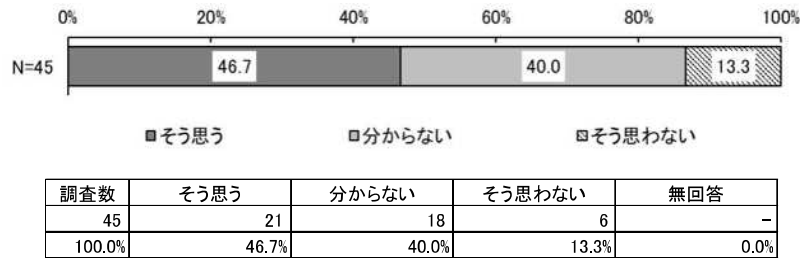


2. 立地条件について

①事業の行いやすさ

「そう思う」が46.7%と最も多く、次いで「分からない」が40.0%、「そう思わない」が13.3%となっている。

問6-1 本市は事業が行いやすい地域だと思いますか。(1つに○)



問6-2 「問6-1」で答えた理由を教えてください。(下の枠内に記入してください。)

(そう思う)

- ・児童含め人口が多い為。
 - ・移動、活動がしやすい立地であるから。
 - ・自然も多く、住民の方の理解もある。
 - ・駅、道路等での都内アクセスが容易、人口が増加傾向にあり商売として何業でも成り立ちやすい。
- など

(分からない)

- ・立地として、交通はよいと思っているが、人が集まりにくい。(立地だけの問題ではないと思います)
 - ・他市に居住及び事業をしたことがないため、比較的な表現をすることができない。
 - ・他の街で事業をしたことがない。
- など

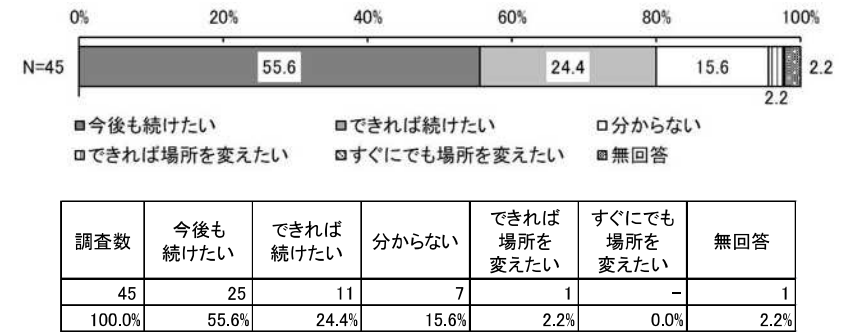
(そう思わない)

- ・①4号線が常に混むので都内に出るのが大変です。②高速が横一本なので利用が難しい。
 - ・③市内もおかしなところが混んでいる。
 - ・越谷市駅近くで営業しているが、購買層が高齢化して非常に客が減っている。
 - ・店が多い。
- など

②事業継続の意向

「今後も続けたい」が55.6%と最も多く、次いで「できれば続けたい」が24.4%、「分からない」が15.6%、「できれば場所を変えたい」が2.2%となっている。

問7-1 今後も今の場所で事業を続けたいと思いますか。(1つに○)



問7-2 「問7-1」で答えた理由を教えてください。(下の枠内に記入してください。)

(今後も続けたい・できれば続けたい)

- ・言い方は良くないですが自然災害が比較的少ない為。
 - ・知名度が上がってきているから。
 - ・地域密着型の職種だから。
 - ・長期にわたりこの地で業務をさせて頂いて来ておりますのでこの地域に根づいて来た為、他には考えられない。
 - ・仕事のボリュームは東京都内の方が大きく、公的補助もあるので将来はわからないが、居住している地元の仕事を開拓し、できる限り貢献することが大切だと考えている。
 - ・店舗併用住宅で容易に移動できない。
 - ・通勤の利便性(社員)。
 - ・人口が多く都心に近いので大きな市場となる。
 - ・お客様が良いから。
 - ・長年努力して現在があります。
- など

(分からない)

- ・少子高齢の度合いによる。
- ・購買層の高齢化で消費意欲が減少する一方であり、若年層はレイクタウンに集中している。

(できれば場所を変えたい・すぐにも場所を変えたい)

(記載事業所なし)

3. 事業活動について

①事業を行う上での市の印象

問8 越谷市内において事業を行う上で、次の項目についてどのように感じていますか。感じ方に一番近いものを1～5の中からお選びください。(1つずつ〇)

ア) 鉄道、バスなどの公共交通が充実している

「ややそう思う」が42.2%と最も多く、次いで「そう思う」が24.4%、「どちらともいえない」が20.0%、「あまり思わない」が6.7%となっている。



調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	無回答
45	11	19	9	3	2	1
100.0%	24.4%	42.2%	20.0%	6.7%	4.4%	2.2%

イ) 道路・交通網が整備されている

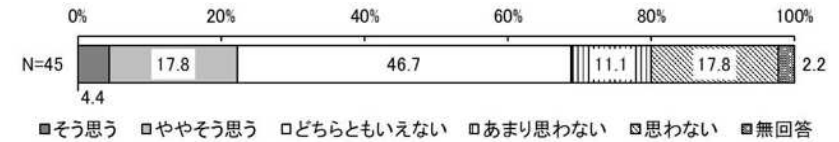
「ややそう思う」が35.6%と最も多く、次いで「そう思う」が24.4%、「どちらともいえない」が22.2%、「あまり思わない」が13.3%となっている。



調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	無回答
45	11	16	10	6	1	1
100.0%	24.4%	35.6%	22.2%	13.3%	2.2%	2.2%

ウ) 従業員の確保がしやすい

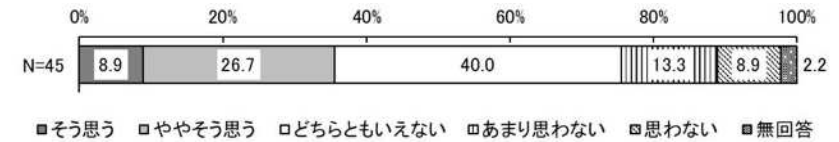
「どちらともいえない」が46.7%と最も多く、次いで「ややそう思う」・「思わない」が17.8%、「あまり思わない」が11.1%となっている。



調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	無回答
45	2	8	21	5	8	1
100.0%	4.4%	17.8%	46.7%	11.1%	17.8%	2.2%

エ) 関連企業が集積している

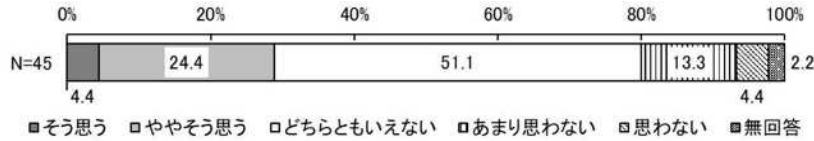
「どちらともいえない」が40.0%と最も多く、次いで「ややそう思う」が26.7%、「あまり思わない」が13.3%、「そう思う」・「思わない」が8.9%となっている。



調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	無回答
45	4	12	18	6	4	1
100.0%	8.9%	26.7%	40.0%	13.3%	8.9%	2.2%

オ) 原材料や部品、商品の入手がしやすい

「どちらともいえない」が 51.1%と最も多く、次いで「ややそう思う」が 24.4%、「あまり思わない」が 13.3%、「そう思う」・「思わない」が 4.4%となっている。



調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	無回答
45	2	11	23	6	2	1
100.0%	4.4%	24.4%	51.1%	13.3%	4.4%	2.2%

②越谷市の強み・弱み

問9 事業に取り組まれている中で感じる「越谷市の強み（良い点、生かすべき点）」、「弱み（悪い点、改善が必要な点）」があれば教えてください。（下の枠内に記入してください。）

（強み）

- ・都心までのアクセスの良さと自然豊かなところ。中央市民会館はじめ魅力的な建造物も多く街の景観が素晴らしい。
- ・人々の関係性が半分農村型半分都会型でバランスが良い。
- ・日光街道沿いに面し、交通手段が良い。又、東武線、JR線と通勤形態にも恵まれている。
- ・土地が広い。災害が少ない。
- ・越谷レイクタウンがある（県内一の集客力、県外から多くの人が集まる）。都心部より近い立地。人口が増加している。

（弱み）

- ・鉄道を挟んで垂直方向に離れると急激に不便になる。網の目的な交通網の整備をお願いしたい。
- ・日光街道に面した所で交通量が多いと同時に道路幅が狭いことが難点である。
- ・観光地としての開拓。宿泊施設。盆地（埼玉県）の為、近くに山や川等の自然がない。
- ・都市化が進むことで自然が減ってきている。越谷地区の商店街に人がいなくなっている。東西を横断する道路が少ない（南北と比較して）。
- ・地盤の安定性、水はけの悪さ。
- ・高速、道路本数、4号バイパスのありえない渋滞。
- ・行政主導が多い。新規申請の通りづらさ。書類が多い。
- ・住宅を建てる土地が少ない。障がい者が住みづらい。

③将来の越谷市に向けた事業所での取組

問10 将来、よりよいまちづくりを進めるため、「越谷市の強み」を生かしたり、「越谷市の弱み」を解決するために、事業所として現在取り組んでいること、これから取り組みたいことはありますか。（下の枠内に記入してください。）

- ・SNS強化、インスタで広める。若い人ターゲット
- ・越谷に根をはって60年以上、公的な施設にも出入りしているのもっと地元業者を利用してほしいです。
- ・都内に事業所を移転する事でマイナスがかなり減りました。
- ・マンション管理士事務所も開設しており、越谷市マンション管理相談の相談員も務め、越谷市内の顧問先マンションの管理の適正化に取り組んでいる。マンション居住比率も少しずつ高まっていくことから、現在の高経年マンションの管理状況を確認し管理不全を抑制していく事、一方若年マンションでは管理状況を診断し管理レベル向上を目指していきたい。なお、マンション居住者が安心して暮らしていくことができる環境を整えれば、市民としての定住期間も長くなり、また、市外部からの転入者の受け入れにも繋がるため、結果として越谷市の人口規模の維持向上に貢献できると考えます。
- ・特別事業所として取り組んでいることは無いのですが、「安心」「安全」な地域づくりに少しでも貢献したいという思いは強く持っています。
- ・行政と連携しながら、福祉の充実とお客様満足度向上につとめたい。
- ・駅から離れた地域に移動するためには車が不可欠。従業員一人に一台となるため、経費的、エネルギー的なマイナス要因。エネルギー効率の良い移動手段に移行していきたい。
- ・事業の形態内容が自由に選択変更できるように
- ・近隣の他県か都内で仕事をする。
- ・地元で仕事がなく、出張が多い為、取り組んだ事がありません。
- ・未知の魅力を開拓し、観光や企業の誘致、インバウンド事業・外国人観光客向けの新たな宿場町として、各地観光の拠点地・市内企業の海外進出支援

4. まちの将来像について

①10年後、20年後に望む越谷市のイメージ

「地震、水害、火災などに備えた災害に強いまち」が37.8%と最も多く、次いで「産業活動が活発で、雇用環境が充実したまち」が33.3%、「誰もが利用しやすい、交通サービスが充実したまち」が31.1%、「子育てしやすく教育環境が良いまち」が26.7%となっている。

問11 10年後、20年後の越谷市がどのようなイメージのまちになれば良いと思いますか。(3つまで○)

調査数	45	100.0%	0%	50%
地震、水害、火災などに備えた災害に強いまち	17	37.8%		37.8
産業活動が活発で、雇用環境が充実したまち	15	33.3%		33.3
誰もが利用しやすい、交通サービスが充実したまち	14	31.1%		31.1
子育てしやすく教育環境が良いまち	12	26.7%		26.7
水辺や緑など自然環境の良いまち	8	17.8%		17.8
医療機関や保健サービスが充実したまち	7	15.6%		15.6
高齢者や障がい者などに優しい福祉環境が整ったまち	7	15.6%		15.6
防犯、交通安全の取り組みが充実したまち	7	15.6%		15.6
道路、河川、下水道、公園などの都市施設が充実したまち	7	15.6%		15.6
歴史のおもかげと新しい文化が融合したまち	5	11.1%		11.1
買い物やグルメが楽しめるまち	5	11.1%		11.1
地域資源を活用した、多くの人が訪れる観光のまち	3	6.7%		6.7
生涯学習施設や文化施設が充実したまち	3	6.7%		6.7
地域コミュニティが形成され、住民活動が活発なまち	3	6.7%		6.7
その他	-	0.0%		0.0
無回答	6	13.3%		13.3

②まちづくりへの意見・提案

問12 越谷市のまちづくりについて、ご意見やご提案（アイデア）等お持ちでしたら教えてください。（下の枠内に記入してください。）

- ・越谷市は、武蔵野線とスカイツリー線が交差している。ここを活かして何かを取り入れてほしい。IR誘致や場外売場（JRA、ボートピア）出張先の田舎町でこのような施設があるところは、イメージは悪いが事実案えている。
 - ・越谷市を拠点に首都圏（東京）、栃木県（日光）、茨城県（滝・海）、群馬県（温泉）、千葉県（成田空港からのアクセス）等々、他県への観光地へ向かう新しい宿場町としてのまちづくり。
 - ・463号線沿いや東埼玉道路沿いに道の駅や、サンシティのような複合施設があれば利用したい。
- など

IV. 参考資料

①団体アンケートの記述全文

(1) 問4 活動内容を教えてください

- ・越谷市の市民活動をする団体の連合組織。団体間の情報交換、交流会を開催。資質向上のための研修会、講演会を常時開催。協働フェスタを越谷市と共催で開催。越谷市市民活動支援センターと協体制を作り、協働のまちづくりのための事業を多く開催。「市民の知恵袋ネットワーク」（なんでも相談）を支援センターと委託で開催している。
- ・越谷市に本店事業所を置く設計管理業務団体として、越谷市関係諸課、機関とも連携を密にし、越谷市の建築業界が公正に発展する様に協力していく。
- ・中学校制服のリサイクル、ゴミ問題の学習、国産なたね油の耕作
- ・①対話の会活動 ②研修事業 ③個別相談事業 ④成年後見事業 ⑤出版事業 ⑥調査研究事業 ⑦その他必要な事業
- ・男女共同参画関係施設受託事業（越谷市男女共同参画支援センター「はっと越谷」受託）
- 2. 男女共同参画推進を担う人材養成事業（講師派遣ほか）
- 3. 情報提供、調査・研究事業（会報誌発行、ホームページ、大学実習生受入ほか）
- 4. 自立支援相談事業
- ・障がい者・児へのホームヘルプ事業、未就学児デイサービス（一般・重症児）、放課後などデイサービス
- ・学校薬剤師、麻薬撲滅、薬学部学生実務自習受け入れ
- ・食・環境・たすけあいについての学習会、イベント、それに関する会議等
- ・幼児教育の振興
- ・目的は、障がい者（主に精神障がい）の日常生活および社会生活を総合的に支援します。①ピアサポート事業②相談支援③居場所提供④イベント開催事業
- ・一人でも多くの視覚障がい者を支援し、広く社会に貢献し、公共の福祉に寄与することを目的としています。
- ＜事業内容＞①地域活動支援センターひかりの森の運営 ②相談支援事業所の運営 ③セミナー、イベントの開催 ④ボランティアや実習生の育成事業 ⑤地域貢献活動 ⑥啓発事業 ⑦点字名刺の作成
- ・体育レクリエーション活動の奨励に関すること、大会、講習会、スポーツ教室に関すること、指導者の要請、及び団体の育成に関すること、その他本会の目途達成に必要な事項
- ・グループホームの運営、入居中の障がい者に対し、日常生活および社会生活を総合的に支援
- ・生コンクリートの共同受注および共同販売
- ・会員の資質向上、親睦、関係官庁（建築行政）への支援
- ・越谷市内をネットワークして住み良いまちづくりをすすめる。女性の自立、男女共同参画社会の推進
- ・活動に「3つのポイント」を定め、責任ある市民として自ら考え行動できる人となるべく活動を通じて力をつけていく。
- 1. 自己開発…能力に応じて自分の出来る事の範囲を広げる
- 2. 人とのまじわり…グループ活動を通して自分の行動に責任をもつ
- 3. 自然とともに…野外での活動から生命や自然を守ることの大切さを学ぶ
- ・毎月1回の定例会で課題を出し合い議論している

- ・ ①学習活動（講演会など） ②親睦（バスりょこう、お花見等） ③クラブ活動（俳句、ハイキング等 12 種のクラブ） ④新年会/フェスタ（活動発表年 1 回）/お花見 ⑤ボランティア（施設訪問、演奏等）
- ・ 障がい者就労
 - 施設外（会社等）にて、お仕事をし、古物商をとり、アクセサリを作成、販売している
- ・ 知的障がい者の権利擁護
- ・ 会員の研修・指導・連絡、地域社会貢献活動、消費者保護を目的とした活動
- ・ 子育て支援「ママバラダイス」⇒②一度北の市民会館で第 1 木曜日に開催、無償、個別相談（優勝）・年一度ウィズユーさいたまで公開講演会、電話相談（無料）、資格授与（グリーン支援士）
- ・ 市民祭りへの参加、各種文化活動、産業フェスタへの参加、ボランティア、レシビコンテストへの参加、地域貢献、田んぼアートへの参加
- ・ 冠婚葬祭互助システムの改善及び正会員へのサービス向上、業界の課題可決のために取り組んでおります。
- ・ 事務代行、資材購買事業、量水器検定期交換業務、給水開始・中止精算業務、漏水修繕等業務
- ・ 連合同志の仕事の協力他、鋼材の協力、情報交換
- ・ 「録音図書（音訳）」製作、対面朗読、ほかの福祉団体との共催又は参加による朗読会によるあすな朗読会・ひかりの森朗読会）の市立図書館主催、「野口文庫講演会」での朗読、こばと館「あい愛コンサート」での絵本朗読）、音訳技術を高める勉強会等
- ・ 中小企業の経営の支援
- ・ タクシー業に係る全体的内容
- ・ 市内の保育環境の向上のため、研修の実施、見学会やイベントの開催を行い市民への周知活動を行っています。
- ・ ①日中の両国での視察交流（会員）、②小、中、高校生の中国からの研修旅行、③絵画や書道の展示交流、④他
- ・ 子育て支援のグループ 10 グループが集まったネットワーク。自分たちの活動のほか、行政からの仕事（子育て支援イベント等）を多く行っている。
- ・ パソコンの操作と機能習得
- ・ 新年会、総会、料理講習会、衛生協会イベント協力、中華まつり、毎月 15 日は中華の日。レクリエーション。県組合活動への協力。毎月一度の組合活動報告会。順正苑老人ホーム慰問していました。
- ・ 越谷市における地域包括ケア推進に係る事業、越谷市内に従事する療養士の研修推進
- ・ 知的障がいのある方を主とした日中生活支援事業
放課後等デイサービス（平成 22 年 10 月～）、生活介護（平成 31 年 4 月～）
- ・ 精神上の障がいにより事理を弁識する能力を欠く状態の人などの成年後見人等を組織として受任する。
- ・ 特定非営利に係る事業、①障がい者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業、②地域交流に関する事業、③児童福祉法に規定する児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業、④障がい者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業
- ・ ①本会の事業目的達成のための情報交換、調査及び研究、②会員の教育及び福利厚生等に関する事業、③本会運営のための観光庁及び関係諸団体との情報交換及び協議、④その他、本会の目的を達成するために必要な業務
- ・ 建設労働者の地位や生活向上のための活動

- ・ 当初は、住宅地の良好な住環境の維持管理と景観まちづくりの活動支援。現在は、越谷市住まい・まちづくり協議会、油長内蔵運営協議会事務局として、住まいとまちづくり分野で活動している。空き家活動相談、空き家バンク運営、まちづくり塾、コミュニティカフェ（まち蔵カフェ）、住まい・まちづくり分野に関する調査研究等。
- ・ サッカー教室をはじめ、スポーツイベント企画開催をし、地域の方達への野外自然教室やダイエットプログラムの提供等を行っています。
- ・ 市内、市外の史跡めぐり、歴史後援会、公民館、文化センター等の行事、小学校（3～5 年生）での歴史講座大間野旧中村家住宅での年間行事（教育委員会）等
- ・ LP ガスにて災害に強いエネルギーとして PR
- ・ 無料建築相談・耐震診断の相談
- ・ 障がい者、高齢者に対する自主生活の支援を行い、社会復帰に寄与する。
- ・ 苦しみや悩みをかかえながら誰にも相談できずに自殺などの心の危機に追い込まれ人たちが再び生きる意欲を自ら見出せるよう 24 時間 365 日電話やメールで対応しているボランティア活動
- ・ 消費者問題に取り組み 40 周年を迎えた。日常の総日生活での諸問題について、市民の立場で調査研究することを目的として創立。現在は、埼玉消費者被害をなくす会の理事、消費者被害防止サポーターとして啓発、SDGS の勉強会、環境問題では、マイクロプラスチック等、さまざまな課題に取り組んでいる。
- ・ 1.越谷市政モニター、2.会員の親睦をはかる、3.会報誌を発行する
- ・ 市民を巻き込んだ安心、安全な食物づくり（手作りみそ）、ゴキブリ駆除の為のゴキブリ団子作り、食生活の添加物調査。
- ・ 栄養および食生活の改善を普及し、市民の健康増進に寄与することを目的として、保健、地区センターを会場にして料理教室を開催
- ・ 消防設備等の適正な設置及び維持管理指導、助言、講習などを行い、各組合員事業の発展につなげたい。
- ・ 知的障がい者の方を中心に日中活動、社会参加、日常生活等の福祉支援、介護等のサービスを提供している。
- ・ 1.レイクタウンピオトープの保全活動と自然観察会、2.子ども向け、大人向けのワークショップ、3.各種イベント行事への参加、4.学生ボランティアの育成
- ・ 障がい者（児）の福祉サービス、通所支援施設、短期入所施設、グループホーム
- ・ 医道の昂揚、医学・医療の発展普及と公衆衛生と福祉の向上を促進し、社会福祉の増進に寄与すること。
- ・ 歳末売り出し、花いっぱい運動、街路灯維持管理
- ・ 埼玉県理学療法士の普及向上、埼玉県民の医療・保健・福祉の増進
- ・ オレンジカフェの企画・運営、医療福祉スタッフへの講義、若年の集い（「認知症の人と家族の会」と協力）、地域ケア会議への人員派遣、認知症サポーター養成講座の開催
- ・ 組合員の行う測量業務の共同受注、組合員の事業に関する技術の改善向上または、教育及び情報の提供、当組合 PR 活動として「田んぼアート」の図柄計算及び田んぼへの打設
- ・ 学校・地区センター訪問、社会を明るくする運動および街頭活動、青少年健全育成研修会、三市（草加・春日部・越谷）合同研修会、視察研修、三代交流事業（ユニカール）、青少年を非行から守るパトロール、「家庭の日」の啓発活動、広報「のびる芽」の発行（年 3 回）
- ・ 食品衛生に関する活動、常設型こども食堂への取り組み
- ・ 不動産登記の専門家として、越谷市、吉川市、松伏町に登録するものが越谷支部として活動している。各市町と連携して道水路等の境界買戻りや空き家対策の対応、研修などを行っている。（無料相談など）

- ・ 越谷市災害対策援協協議会、越谷市景観計画に沿った色彩勉強会
- ・ 越谷市子育てサロン委託事業、一時預かり、生活クラブ生協エコロ制度委託事業
- ・ 障がい者支援
- ・ 司法書士会の諸活動
- ・ 子育て支援、講座事業、保育事業、委託事業、人材育成事業、その他事業
- ・ 8項目の推進を図る活動、①保健・医療または、福祉、②社会教育、③まちづくり、④学術、文化、芸術または、スポーツ、⑤人権の擁護または、平和、⑥男女共同参画社会の形成、⑦子どもの健全育成、⑧前番号に掲げる活動を行う団体の運営または、活動に関する連絡、助言、援助、①～⑧を達成するために4つの事業を実施（子育て、家庭教育支援事業、子育て情報事業、人材育成、教育研修事業、地域ふれあい事業）
- ・ 市の在宅支援をしている。在宅、生活、病院支援等、介護保険でできないことを行っている。健康支援、現在3ヶ所で認知予防、転倒予防の有酸素運動を交流館や自治会館で仲間づくりができるようにしている、4ヶ所の施設支援を行い、ゲーム、歌、指体操等行っている
- ・ 街づくり、人づくり
- ・ 埼玉県東部進学フェア開催、不登校相談、埼玉東部教材研究会開催、放課後等デイサービス Grip キッズ越谷校の運営
- ・ 年間を通じての無料税務相談の実施、税に関する講習会への講師派遣等、税に関する知識の普及活動、税理士制度のPR活動、地方公共団体の監査人を務めるなど、地域の社会貢献活動にも取り組んでいる。
- ・ 保護司は、法務大臣が委嘱した更生保護のボランティアで、犯罪や非行をした人の立ち直りを助けることと、犯罪や非行の予防活動に取り組み地域の安全・安心に貢献している。全国で約5万人、現在、越谷地区（越谷・三郷・吉川・松伏）で127人、越谷支部会では、67人の保護司が活動している。
- ・ 1.社会奉仕活動…清掃活動、自動の登下校の見守り等 2.友愛訪問活動…ひとり暮らしの方等への見守りやごみ捨てなどの助け合い 3.教養講座開催…振り込め詐欺等の被害防止講座、交通安全講座等 4.趣味文化活動…演芸（歌・踊り）、創作（書・絵画・写真等）、囲碁・将棋等 5.健康増進事業…グラウンド・ゴルフ、体操等
- ・ 目的：体育を振興し、特に市民の体位の向上と親睦を図り、スポーツ精神を涵養することをもって市内体育文化の推進を図ることを目的とする。①市内駅伝競走大会 ②元旦マラソン大会 ③越谷市体育賞・スポーツ講演会
- ・ スポーツを通しての仲間づくり、健康づくりに努める、現在加盟団体は22団体、会員総数は、約1万人、スポーツも参加型から観戦型にもなっている、体育協会のめざすところは、“より高く”・生涯スポーツとして“より永く”が求められてきている
- ・ ケース会議への会員の参加、1回/月の会議（困っている事や疑問点を話し合う）、市民祭り・交通安全パレードの参加、1～2回/年 研修会
- ・ 障がい児・者への発達・学習支援、相談、セミナー、余暇活動は休止中
- ・ 柔道大会、空手大会の救護、機能訓練運動（健康柔体操）の普及、四師会への協力、その他
- ・ 重度知的障がい者のある方を対としたグループホーム（包括型）の運営
- ・ 越谷市内に於ける石油販売業の促進等、相互扶助の安定向上をはかっている。
- ・ 越谷市内に三数場（それぞれ公民館利用）あり、日曜日、木曜日、金曜日に各2時間をもって一教場8～10名の会員にて、漢詩、和歌、俳句等を吟じている。
- ・ アマチュア無線の運用
- ・ 市内で活動する文化・芸術及び団体の支援及び活動内容の普及啓発を通じて市民文化の向上を促進する。
- ・ 越谷市内の交通安全活動

- ・ 共同受注事業、違反屋外広告撤去活動、越谷市民まつり「安全パレード」参加、合同防災訓練参加等
- ・ 農業保険法に基づく農業共済事業及び農業経営収入保険事業を推進している。
- ・ 1歳6か月児健診、3歳児健診、母親学級、休日当番医、在宅訪問歯科保健事業、歯周病健診、妊産婦歯科検診、口腔がん検診、障がい者施設健診、老人介護施設歯科検診、越谷市歯科医師会と地域包括支援センターとの交流会、越谷市立病院における口腔ケア
- ・ 越谷市に住んでいる聴覚障がい者の生活質向上や市民に対して手話啓もうなどを活動しております。
- ・ 越谷市伝統的手工芸品の宣伝・販売促進、各種展示会等への出品参加、各組合事業活動への協力（越谷市だるま組合、越谷ひな人形組合、越谷米菓組合、越谷桐箱組合の4団体で構成）
- ・ 禁止事項のない子どものやりたい遊びが自由にできる常設の冒険あそび場（プレーパーク）を越谷市内につくりたいと願い活動している。現在、越谷市青少年課と協働で、大袋原っぱ公園や東越谷第7公園を中心に定期的にプレーパークを開催している。その他、乳幼児親子の外遊びの機会をつくり、子育て世代の交流の場をつくり、子育て講演会を開催し、子育ての悩みが解決できるよう働きかけている。
- ・ 主に下記に関する事項の会議室等運営を行う。(1)スポーツ・レクリエーションの推進に関すること。(2)各地区スポーツ・レクリエーション推進委員会との連絡調整に関すること。(3)各地区の市民体育祭の意見調整に関すること。(4)学校体育施設開放に関すること。
- ・ 事前復興事業の1つである「復興イメージトレーニング」研修を市民に広める活動
- ・ 視覚障がい者とその家族、そして共に活動する協力者・支援者のアリスメイトが、対等な立場で交流し、活動しているグループです。主な活動①定例会②会報発行③七夕フェスタ・協働フェスタ等の地域交流④バリアフリーのまちづくり⑤学校ボランティア⑥音声パソコン勉強会⑦点字・スマホ勉強会⑧あおぞら号バスツアー⑨STT、カラオケ、ボウリング、DVD上映会等のレクリエーション⑩朗読の会⑪講演会⑫ランチ会⑬その他
- ・ 月1度定例会、年1回講習会、市民まつり交通パレード参加、リユース祭り参加、リサイクルプラザフェア参加、その他講習会参加
- ・ 子ども食堂（居場所）市内3ヶ所+12月新たに1ヶ所新設、制服・部活動具リユース・伝統文化継承・おもちゃの病院 他
- ・ 環境保全
- ・ 1.姉妹都市交流（キャンベルタウン青少年受入、中学生使節団派遣） 2.越谷国際フェスタ：おしゃべりサロン、外国人児童小学入学説明会）、外国人高校進学ガイド
- ・ 3.越谷市内青少年交流会 4.活動情報を市民に発信
- ・ 高齢者福祉サービス
- ・ 越谷市のイベント参加等のボランティア活動・若手職人の育成等

(2) 問7 団体活動に取り組まれている中で感じる「越谷市の強み(良い点、いかすべき点)」、「越谷市の弱み(悪い点、改善が必要な点)」があれば教えてください。

《越谷市の強み(良い点・いかすべき点)》

- ・ 人口が多い
- ・ <市民力が高い>、市民の自主性を活かし、様々な事業に繋げるよう、支援する。事業を開催する側と、受ける側のマッチングをする機能が欲しい。
- ・ <人口が多い>
- ・ 古き良き時代から、日光街道の宿場町として、商業・農業・地場産業の流通が盛んで町全体の団結力がある。
- ・ 市民活動支援センターや男女共同参画支援センターで支援や助言、会議室の提供をしてもらえることは大変ありがたいと思います。
- ・ 東京、千葉、茨城、神奈川からも交通アクセスが良い、優秀な市民、人材が豊かである、多様な国の人々が生活している(スカイツリーラインに乗ると良くわかります)、歴史的な文化を持っている
- ・ コミュニティ区域の地域差が少なく、住民の郷土愛が強い。
- ・ 若者同士で活動する場が以前より増えてきたと思う。障がい者・児に対する、ユニバーサルマナーが良くなってきている
- ・ 東京に近い、自然に恵まれている、子育てしやすい
- ・ 少しずつであるが、若い市民がまちづくりの主体者になってきていること
- ・ 行政の理解があり、活動に対し積極的に協力いただける。
- ・ 行政と当NPOが連携・連動ができていて、行政と他団体と当NPOの協働の実現
- ・ 体育施設が充実している
- ・ 公園や、福祉教育等の公共施設が充実している
- ・ ①交通網が整備されている、②東京に近い、③新規にマンションが建設されている
- ・ 他部会と比較して会員数が多い、他業種との交流が盛ん
- ・ 市民の力、様々な分野で市民主体のまちづくりが進められている、歴史的資源がまだ多く残っている
- ・ マンションなど住宅の増加から若い世代の流入、子どもが増えている、青少年団体への変わらぬ助成金に感謝 ※創立50周年記念キャンプで今夏イギリス行き(ホームステイ)より多くの体験を・・
- ・ 交通の便が良く、都心部・千葉・北関東にも行きやすい。
- ・ 共同受注
- ・ 行政(障害福祉課)が協力的であること
- ・ バランスが良い
- ・ 人口が多いので、広報すれば人が集まる、地理的に便利、県内のあちこちから集まってくれる
- ・ ネギ、小松菜が特産
- ・ 市長のリーダーシップ、官民間の風通しのよさ
- ・ 越谷市は、市街化区域と市街化調整区域がほぼ半分ずつの土地柄であり、自然豊かであるとともに、開発の可能性を秘めた中核市であります。今後のまちづくりに大いに期待が持てるものと確信しています。
- ・ 市内業者の優先発注、一方偏りすぎもある
- ・ 市の関係者が、本活動がより充実していくため、協力的に動いて下さっている
- ・ 全体的に活気がある
- ・ 埼玉県内において東部地域の中心地として武蔵野線、東武鉄道スカイツリーラインとの交差しており、人口が増加している点、通勤交通アクセスが地域の中で一番良い点。

- ・ 越谷市自治基本条例、外部へ周知できるイベントの開催
- ・ 中国の学生が視察に訪れたとき、行政視察が受け入れられるので良い点、消防署、環境センターなど
- ・ 物事に一生懸命取り組んでくれる職員の方々がいる。私達市民グループを生かしてくれる。
- ・ 講習会場として地区センターが安価で借りられる。
- ・ レイクタウンや越谷ナンバーができて認知度が上がり人口が増した点。災害支援協定があること。
- ・ 越谷市の地域包括ケア推進は、行政においては「地域包括ケア推進課」専門職団体としては「越谷市医療と介護の連携の会」が存在し、特に「越谷市医療と介護の連携窓口」が中心となり、行政、専門職が一つになり取り組む体制が構築できていると思います。県内でここまでよくできている自治体は、他にないと思います。
- ・ 中核都市になり、人口が多い、福祉サービスの数も増えてきている。指定が市に降りてきたことで、すぐに足を運べるため、支障が出ない。市や各自治体で行うイベントなどが増えている。
- ・ 首長申し立てを行っていただいている点
- ・ 市行政の特徴として、厳格である(近隣市町より)感じます。県東部、5市1町の取り組みが良い。様々な分野が、バランスよく発展している。市街化区域・調整区域のバランスが良い。
- ・ 公共施設の充実
- ・ 東京都心から25キロ圏内という首都圏都市の立地・面積の半分以上が市街化調整区域で農地が多く残っている。水郷こしがやの自然風景や緑と水の景観・市内全域がほぼ平坦地の為、効率的な土地利用可能であり、自転車移動が便利
- ・ NPO活動法人に対して積極的に取り組んでいただいていると思う。
- ・ 福祉等の問題には、積極的に取り組んでいる。
- ・ 人口が増加している。東京直結鉄道、駅が多い。面積が広い為、都心地域と農村地域がある。
- ・ 予てより、地域的結束力がある。
- ・ 自然と調和した街づくり
- ・ 人口が多く、多才な人材に恵まれていると思う。市役所を中心として、取り組みが積極的で力強さを感じる
- ・ 可もなく不可もない政治を行っているといわざるを得ない。財政が硬直し、止むを得ず新事業を立案しているように見える。積極性に欠ける所為が。これが強みだと思ふ。
- ・ 市内では、地場産コーナーを設けているストアが多くなってきた為、食材「地産地消」として旬のものが購入できる。
- ・ 消防設備の維持管理に費用が出るようになった。
- ・ 熱心な活動団体がある。特に団体の連携を推進しようという動きもある。行政と連携がとれるようになってきた。
- ・ 市民がネットワークをつくり、活動を行っている。横の繋がりが強い。
- ・ 災害発生(被災)の少なさ
- ・ ライフラインが整っている。自然を生かした環境が良い。
- ・ 高齢者が多い事もあり、地域のつながりは強い。(医療介護施設間や利用者)
- ・ 越谷レイクタウン、都内に出やすい、自然がある
- ・ レイクタウン等ができ、街並みがあたらしくなった。周辺の道路整備により、レイクタウン以外にもアクセスしやすくなった。
- ・ 乳幼児～小学生は、2館の児童館があり、子どもの居場所づくりになっている。放課後子ども教育の実施

- ・ 道水路境界を個別土地ごとではなく、市として統一基準の資料として管理されている。
- ・ 河川、田畑などの自然から、移住地、商業地にレイクタウンととてもバランスのとれた街だと思う。
- ・ 子育ての環境が良い。元荒川・火災用水土手の散策。自然が多い
- ・ 生活しやすい。
- ・ 地域内では、比較的まとまりがある。ある層以外の年齢帯では、活動者が活発で、県内でも登録人数が多い。
- ・ 人口が増えている。活動団体、市民が多い。越谷市、団体もいいことをしているが、外部へのアピールができていない。越谷市は、市民を巻き込んで計画実行していくと進歩する。
- ・ 越谷市の活動支援センターには、市内で活動しているボランティア団体が、130 件ぐらいの方が登録して市内で活動している。高齢化が進んでいるが、活動しやすいように良い点につなげていけたらと思う。
- ・ 豊富な人材がいると思いたい。
- ・ 子どもが多い
- ・ 人口が増加傾向にあるので、会員の増強の面で心配することがない。
- ・ 越谷地区更生保護サポートセンターは、越谷市の特段のご理解・ご配慮をいただき、中央市民会館 4 階の一室に平成 25 年 10 月に開設した。本センターは、保護司会活動の事務局機能も有しているなど、更生保護活動の拠点施設として有効活用させていただいている。
- ・ 小規模クラブ（20～29 人）の単位クラブに対して市予算より助成していただいている。
- ・ 地域活動に団体の活動を連携させている。
- ・ 人口が多い。医師会（在支の）医師は訪問看護に理解がある。
- ・ 交通の利便性。中央市民会館の存在と多目的に使用できる点。他県・市からの来談者がついでに行く所（レイクタウン、いちご園）などがある。連携できる大学等がある。
- ・ 自然風景の維持。医療の連携がある
- ・ 設立の浅い団体でも、担当の方は親身になって話を聞いてくれる。
- ・ 年間 3 件の事業があり、これに市の支援が力強い。①2 月文化芸術祭、②10 月越谷市民まつり、③11 月越谷市文化祭
- ・ 公民館等公共施設の充実により、発表の機会が確保されていることにより、長く続けて文化芸術活動に参加できる環境にある。
- ・ 都心に近い
- ・ 東京に近い上、市の人口も 34 万人をこえており、地理的優位性を活かした様々な農業が展開されていることと考える。
- ・ 地域住民と行政・関連団体とのネットワークがしっかりしている
- ・ 市役所に手話のできる職員がいる。障害福祉課に手話通訳のできる職員がいることが、大変ありがたいです。昨年から手話言語理解促進イベントとして開催されています。もっと市役所には、手話のできる職員が増えてほしい。
- ・ 地場産業への関心が高い、小学校で体験学習の授業があり、学び親んでいただく機会がある
- ・ 高齢化率が全国平均よりも低く、比較的子育て世代の人口が多い。都内で働く現役世代が多いことから、最新の情報が手に入りやすい。都心に近いわりに豊かな自然が残っている。
- ・ スポーツが盛んで住みやすい環境である。体育施設の利用をもっと充実した取組が必要と考える。
- ・ 人口が増加、特に若者世代が多く活気がある。イベントお祭りが多い。高齢者が元気。

- ・ 視覚障がい者の立場から、越谷駅前＝市役所間の①カスミ前駐輪②車イス・視覚障がい者向け交差点青タイル敷設③南側舗道の自転車問題など、真摯に対応してくださる点（UFJ 前駐輪問題も対応よろしく願います。）
- ・ レイクタウンなどの都市型住宅地の整備などで人口が増加していること、大きな災害がないこと、交通の便が良く都心へのアクセスが良いこと
- ・ 当法人の活動が先進事例として、県内外へ波及している。
- ・ 社会的立地条件が良い
- ・ 市民（乳児～高齢者、障がい者）への福祉サービスが充実、市民の自治基本条例制定により市民が行政施策に対して自立意識が高まっている。市民力による協働まちづくりの充実

《越谷市の弱み（悪い点、改善が必要な点）》

- ・ 特徴がない
- ・ 資金の提供や、しきみが少ない。しらこぼと基金はあるが、使いづらい。もっと柔軟な対応があると良い。建物や施設の指定管理者があっていない。
- ・ 歴史と伝統が昨今では極地化している様に感じ、それぞれの地域が特異性を生じた町に発展して行く事を希望する。
- ・ 越谷市は南北に長い地形なので公共施設の配置は検討すべきと考えます。
- ・ 各会場の予約や支払いをネットですべて行うことができない（現地に行く必要あり）、仕事をしながら活動している人もいることを考えてほしい。今日、ボランティアだけでできる日中ヒマな人はいない。ITをもっと活用すべき（Web 会議など）
- ・ 地域別で、新しく越谷に転入してきた方と昔から住んでいる方との交流も少なく、関係性が希薄である。高層住宅も多く、災害など有事の際にすぐに逃げられない方も一定数いる。
- ・ 中核市となり、障がいのある人への支援が希薄になっている。
- ・ 規模が比較的大きいので、市民活動のネットワークが多数あり、同様の活動が、全体として把握することが難しく感じている。
- ・ 予算や事業計画の策定にあたり、各種団体からの意見のくみ取り作業をしていただきたい。
- ・ 福祉関係の財源が少ないが、年々よくなっている点。
- ・ 専門員やケースワーカーの不足、社協の活動窓口が狭いように感じ、フットワークが悪い。
- ・ 施設の老朽化、参加者の高齢化
- ・ 越谷レイクタウン以外の越谷駅、南（新）越谷駅等の商業施設があまり魅力的ではない
- ・ 地元企業への育成・援助への仕組みづくり
- ・ 活動に参加する会員が固定化、会員の関心が薄い
- ・ マンション、集合住宅が多い為、自治会とのつながりが薄い。塾やおけいこ通いの子どもたちが多く、地域の行事に出てもらえない。新住民も多く越谷のまちを知らない。
- ・ 高齢者居住地域に住むことで救急車出動を目にするが行先に時間が（受け入れ先病院）かかりすぎの様…
- ・ 越谷市「ならでは」の強みがない。
- ・ 障がい者に対する理解が市民の中にいきわたっていない（啓発が足りない）。
- ・ 特徴がない
- ・ 越谷市は、東京都の近郊にある都市であるため、商工業を中心とする産業の発展が十分でないところが見受けられ、その発展が今後の課題と思っております。
- ・ 越谷市工業会には発注されていない
- ・ ボランティア活動支援のための予算が少ないのでは。

- ・ 越谷市の中小企業と出会う場がない（当方が知らないのか？）
- ・ 道路交通網については、まだまだ遅れていると思う。特に高速道路等を利用するのに不便であるので高速道路（東埼玉）を含めた改善を期待します。
- ・ 市民団体周知活動への支援
- ・ 私達からのお願いで、学生たち、学校の視察ができればよいと思う
- ・ ある程度、名が知られていないと、門前払いなどがあり、新しいグループの活動の糸口がつかめない時がある。
- ・ 子どものためのパソコン教室を運営していますが、OS が VISTA で古い。新しいパソコンにしてほしい。
- ・ （当団体として）一極集中のようでも個人店主の高齢化や時代変化、食生活（文化）をともしない厳しいが個人店の良さ大切にしたい。
- ・ 30 万人を超える中核都市であるため、地域包括支援センターが 11 か所となり、各自法人に委託していることもあり、越谷市の考えをそれぞれの地域包括支援センターが共有することが難しいように思います。また、地域包括支援センターの職員も入退職も多く、法人内での申し送りが不十分な点が多く、地域包括ケアシステムの取組の説明を一から行わなければならないことも多いかと思えます。
- ・ 市役所など、行政機関の対応が画一的で、現場の現状に対する理解が難しい部分がある。以前よりは、対応が親切になっており個々の対応は良い様子
- ・ 首長申し立ての範囲が狭いと感じる。首長申し立て以外でも補助金を出す仕組みが欲しい。
- ・ 商業が、長く続かないように思います。厳格さが強いところで、企業や市民の動機づけを損なわせることがある。多くの市民がベッドタウン化から変わらないこと。
- ・ 公共施設の老朽化
- ・ 新住民が多く、ふるさと意識、我がまち意識が低い。ベッドタウンとして発展してきた為、地場産業が少なく雇用環境が貧しい。中核都市として、博物館や美術館などの文化施設がなく、都市施設や機能がアンバランス・低湿地の為、水害リスクがある。職員全体が安全運動志向で保守的になっている。新しいことに挑戦する意欲がない。
- ・ 郷土の歴史、文化等の取り組みが弱い。
- ・ 面積が広い為、都市地域と農村地域との交流が少ないと思う。地域差がある。
- ・ 街の空洞化
- ・ 発信しても受け入れ体制がない。市民活動に関心がない。
- ・ 非常に保守的で面倒を起ささないようにといった姿勢が強い。他の自治体の先頭に立って新企画に取り組むといった頑張りが弱い。皆無。
- ・ 活動内容により、活動場所がない時があり、公民館の受付の方に嫌な言葉や顔をされている。大きな公民館の対応が悪い。市の対応が不親切と感じる。
- ・ 越谷市の特産がない。深谷市のねぎや、さいたま市のクワイのようなものがほしい。
- ・ 消防設備点検の費用安い。一部の会員からの要望点検業務を越谷の業社だけをお願いしたい。
- ・ 行政では、縦割感が強く、例えば課を横断するような事業があるかどうかもわからない。地域の文化育成や活動が弱い。資料館がない。中核市になったが、市民の生活にどう反映されているかわからない。
- ・ 市民活動の高齢化、若者の育成
- ・ 高齢層の増加
- ・ 理学療法士会の活動に対して協力的な施設は、まだ一部であり、中心となる施設がある程度決まっている。
- ・ 大宮、浦和へのアクセス。行政とのつながりにくさ。住民の意見の吸い上げ実施。広すぎる為、コントロールが難しい

- ・ 道路整備等のインフラが不十分。多量の雨に弱く、今後多くの被害が出る可能性がある。災害対策は急務
- ・ 高校を卒業してからの青少年のための生涯学習の実施をしてほしい。中高生が活動できる場の設置
- ・ 強みの点が、整備されている地域、されていない地域で市民への負担に格差があること。
- ・ 立地（土地柄）や交通機関からベッドタウンとしては、住みよいですが、レイクタウン以外で他市と比較してもぼっと思い浮かぶ越谷の特色ある街並み
- ・ 市民税が高い。国保料も高い
- ・ 地域格差
- ・ 北部は、高齢化が進み、南部は、新規住民が増えていて、課題が違いすぎて分断し、どちらも住みにくくなっている。
- ・ 人と人との繋がりが薄れている。子ども会・自治会の継続が難しくなっている。いろいろな活動団体、個人の活動を活かしていない。情報があふれていて、何が大切なのか判断が難しくなっている。グループワークなどの子育ての講義が必要
- ・ 現状満足
- ・ 東京に近い分、独立開業する会員が少なく、サラリーマン税理士が多い。これにより、平日の活動で参加できる若手会員が減少（激減）している。
- ・ 市民に対しての高齢弱者に対する支援が少ない。
- ・ 人口増加に伴い、施設、設備等が不足となる。従来からの団体活動が継続していけるようお願いする。（プロスポーツが盛んになるとその分、アマスポーツがおびやかされないように。）
- ・ まだまだ訪問看護への認知度が低い。困っているのに救いの手を求めようとしていない人（どうしてよいかわからない人）がいる。地域の関わりが少なくなっている。
- ・ 私たちの事業では、特にない。
- ・ 役付の方との設定が皆無。大きい法人には、顔を出しているとのこと。
- ・ 強みにあげた 3 事業の特徴が弱い。違いがわかりにくい。
- ・ 児童館コスモスのアマチュア無線施設について、緊急時の通信施設として重要な拠点と考えている。設備の老朽化が著しいが、修繕のための予算が下りず、故障しても放置されたままである。
- ・ 郷土資料の収集展示が弱く、美術館、博物館などの地元の歴史を知る施設がなく、今後も各種郷土資料等の散逸が懸念されている。
- ・ 役員等の活動者が高齢者で、若い人の加入者が少ない。今後の活動が心配
- ・ 地元への関心が薄い
- ・ 地域住民と行政関連団体とのネットワークが脆弱というところもある
- ・ 聴覚障がい者の社会への参加には、手話通訳者が必要不可欠ですが、まだまだ手話通訳者人数不足という現状です。待遇面の改善は必要と思う。越谷市には、2 つの大学がありますので、手話又は手話通訳という学科を設けていただけたらいいなと思っております。
- ・ 観光イベントには、人手不足のため、参加・協力が難しい
- ・ 住んでいるまちへの愛着や関心が薄い。利便性を優先する傾向にある。越谷市内での若い世代の雇用促進が図れていない。「越谷らしさ」がわかりにくい。
- ・ 組織が高齢化し若者が参加しにくい、若返りが必要。
- ・ 情報発信が下手。コミュニティや団体活動の連携が図られていない。
- ・ ①同行援護のガイド不足を支援できていない。②視覚障がいについての市民啓蒙の不足、③市内各駅ロータリーの障がい者用 P スペースの不足、④せんげん台西口から、県大方面への点字ブロックの未敷設

- ・ 30年～40年前に開発された住宅地の高齢化・大企業がないことによる税収がない・調整区域の人口減少
- ・ 行政の関わりが消極的。
- ・ 市民にハングリー精神が乏しい（恵まれすぎているから）
- ・ 越谷市が市民への福祉サービス充実のため設立した協会、団体に補助金を出しすぎている。市民の行政施策に対する自立意識を高め、補助金削減に努める。

（3）問8 将来、よりよいまちづくりを進めるため、「越谷市の強み」をいかしたり、「越谷市の弱み」を解決するために、あなたの団体が現在取り組んでいること、これから取り組みたいことはありますか。

- ・ 市民が何を欲して、何をしたいと思っているのか、行政の窓口を開放して、話し合いの場を作ってほしい。その中から、できる事業を実現させ、行政の広報・支援センターの広報のツールを使って、知らせることができるようにする。連合会の事業が、市の広報でもできるようになると良いと思います。市民は、それぞれの立場で、しっかり考えています。
- ・ かねてより越谷は安全で、安心な、協働の町づくりを推進してきました。わたくしども組合もその一端を担い、町の防災、耐震、未来ある子供たちの健やかな成長を願い、建築を通じて臨んでおります。これからはそれら建築物の無理のない保存とリノベーション性能を引き上げ古き良き街の面影を生かしたまちづくりに協力、取り組んで参りたいと思います。
- ・ これから高齢化は進んでゆくとします。高齢者が安心して生活できるように環境整備をして欲しいと思います。例えば公共交通、特にバスの拡充、歩車道分離と自転車道の整備。高齢者も子どもにも安全な街づくりが活性化につながると考えます。
- ・ 事業助成するときに、特定の団体に偏っている。特に若い人たちへの配慮が不足している。若い人たちは、ITを使いこなせるのでWeb会議なら参加できる。子どもたち、中高生にも門戸を広げてはどうかと思う。政治について、自由に語ることも保障すべき。特定に偏っている。特定の考え方に対する危険視（例、原発問題、憲法問題）は大きな課題であろう。
- ・ 近年、地震のみならず豪雨などといった自然災害も増加しており、災害時に備えた防災システムづくりや、地域住民の関係性の強化が必要である。そのため、地域担当制による住民福祉活動の支援体制を強化し、ふれあいサロン開設の促進や福祉推進員の増員及び活動の充実に向けていく。
- ・ 市内各事業との連携が図れ、情報が共有していけるようになればと思います
- ・ 子育て中の家族に楽などの相談を受ける。
- ・ 生協組織であるため、会員内部への情報発信の機会は比較的持っているが組織員外への発信力が弱い傾向にある、地域のNPO団体や他生協、企業との連携を強化して食の安全や環境の問題に取り組むたい。具体的には、プラスチックごみ削減、Co2削減、再生可能エネルギー活用強化、生活困窮者支援等
- ・ 3歳～5歳児の教育に熱心に取り組む、越谷で活躍できる成人になるための基礎を作る。福祉とは別に教育への理解を高める。
- ・ 現在34万人の人口が、今後50万人になれるよう4号バイパス沿いの開発が、企業・一般住宅が増えるよう行動してほしい。
- ・ 「出張フレンズデイ」を開催していますが、各地区センターに協力を仰ぎたい。ガイドヘルパー派遣事業（社協）をひかりの森に委託していただきたい。視覚障がい者にとって、いま最も必要な就労継続Bと同行援護従業者派遣事業の実現
- ・ 若年層への世代交代、イベントも子どもから参加できるものを考え企画している。

- ・ 市内外の他の団体との共栄や、意見交換を行い、内容をWebサイト、SNSなどで積極的に発信していきたい
- ・ ①越谷市の街づくりへの協力、②災害発生時の協力
- ・ 越谷市の特徴を活かした町づくりに取り組んでいきたい。住宅相談を通じて、住みよい環境の創出
- ・ 住みよいまちづくりをすすめるためにはまず、越谷の良いところを知ること。そして郷土愛が生まれる。会の活動として越谷いろはかるた、ひな型顔出しパネル、越谷の民話の紙芝居、越谷の早わかり年表などで越谷のまちを紹介。様々なイベントに参加して広めている。又、かるたを大阪にしたものや他のものを使って児童館で遊んだり展示をしている。
- ・ 地域行事への参加から（各種イベント、募金活動など）子供達も（スカウト）役立つことの喜びを知り老若男女にほんわかした雰囲気を作り出すことでコミュニティにプラスを…該当する部、課に相談できよい方向にすすめる。
- ・ 越谷市の地元団体として、地元が活性化するような活動を起こしたいです。
- ・ 市役所の方と、連携をとり、事業所の見学をすと、もっと交流が深めて、お互いの問題の解決につながっていくのではないかと。
- ・ 障がい者が生まれ育った街で暮らしていけるように、グループホームの家賃や休日の加算などを市独自でつけてほしい。
- ・ 住みよい街づくりに更に取り組んでまいります。
- ・ 自分の団体の活動を、着実に実行していくことだと思う
- ・ レシピコンテスト等への参加、協力
- ・ 2019/7/4（木）実施の「緊急時における応援協定に関する懇親会」のような行事の継続開催。
- ・ 当組合は、都市インフラの一角をなす水道整備を担当する管工事業協同組合でありますので、昭和30年代から整備されてきた水道管等老朽化が進み、その再整備が求められています。また、地震や風水害に強い水道設備が求められています。今後はこうしたニーズに充分こたえられるよう、組合組織の充実を図り市民のニーズに応えられるよう積極的に取り組んでまいりたいと存じます。
- ・ 市内二次下請け発注の指導が足りない、市に陳情、建設会社との会合
- ・ ボランティア活動をアピールするための部署間の連携（私共が各部署に働きかけて、初めて理解していただける）
- ・ 中小企業と接触できる場をつくりたい
- ・ タクシー業を営む団体として高齢者を含む交通弱者等によりよい交通手段として又、ドア to ドアのタクシーの特徴を生かし市民の利便性に取り組み、努力しているところです。
- ・ 当団体は発足4年とまだ新しい方にあたり、新たな事への積極的に取り組むことができているのが強みですが、これを継続していくことが課題と感じています。
- ・ 団体としては、より国際面が強いまちづくりをおねがいがしたい。文化遺産や商業、特にレイクタウンではなく、越谷の古い町並みをどう再現するのか、又、まだまだ越谷市は、農業を営む地域があるので、農産物を活用した、都市近郊の農業を！レイクタウンでは年間5000万人を越える集客力がある特点を生かすにはどう取り組むべきか、文化遺産、農産物（野菜）、川（水郷）、工業では見学ができる工場の誘致を、これらを観光事業としてネットワーク化していく（おのずと街が活性化していくのでは）
- ・ 今、行政からの仕事が多いので、総会には年に一度となるが、広く行政の方々にも参加していただいている。ボランティアのネットワークを生かして協力している。
- ・ 高齢者へのパソコン習得

- ・マニュアル化したチェーン店にはない個人店の技能と心からのお客様への対応。組合員同士の今まで以上の交流、組織の良さをアピールしたい。
- ・現在取り組んでおりますのが、行政の皆様と協働で行っております「越谷市介護予防リーダー養成講座」です。少しずつではありますが「通いの場」が増えてきております。非常に地域住民から評判の良い事業であり、越谷市の介護給付費の抑制に貢献できる事業だと考えております。
- ・障がいのある方に関して多くの方々に知っていただくために、地域との交流を深める啓発活動を行っていききたい。
- ・市民後見人の養成を担っていききたい。
- ・障害福祉の分野を担っています。5市1町のとりくみを、福祉の分野でも大きく展開していただきたいと思います。まずは、地元越谷の福祉の発展のために、千分の一、万分の一の障がいのある方、そのご家族様と「共に生きる」ということや、「この街に（で）生きる」ということを基本に、障害福祉サービスの中で、出来るサービスの展開を実践しています。障がいのある方の通う場、居住サービスを増やし、生まれ育った住みなれた町にずっと居られる、生活が回ることを叶えていくのみです。
- ・1. ランドバンク事業、2. 農のあるまちづくり、3. エリアマネジメント、4. まちかど博物館構想、5. 異世代型ホームシェア
- ・スポーツ、健康情報を地域住民へ提供していききたいと考えている。
- ・郷土（越谷市）については、積極的に自費出版し、越谷市を初の県内、県外にアピールしている。
- ・台風被害が今後増えると思われる為、復旧にLPガス機器を常設と指定避難所など体育館に冷房（LPガス）を推進する。冷房がなければ眠れない。
- ・耐震強化は、従来より行っているが、今後は台風等に耐えられる越谷を目指したい。
- ・障がい者が高齢化し、身寄りがなくなった時の不安を訴える家族の方、障がい者が多い。自立生活ができるよう取り組みたい。
- ・相談員募集説明会を共同開催していただき、ありがとうございます。ボランティア活動など市民活動に参加する意欲が高い人が多い。埼玉県東部地域の拠点になってもらえたらと思う。いのちの電話の分室も考えていきたい。場所の確保に協力がほしい。
- ・市政をモニターする点に於いては、議会傍聴者に議員との懇談会や市政執行者との意見交換を随時行っている。年2回発行する会報誌に会員の市政に対する意見を掲載し、会員の思いを公表。越谷市民活動連合会に加入し、活動。地域コミュニティを形成する一助となればと願っている。
- ・先輩方が昔から自然に手に入る（食）を生かして学び、若い人たちにかんたんで安心安全な食を教えていききたい。
- ・越谷市の特産品を使った郷土料理が次世代にも引き継がれるように開発したい。
- ・障がいのある方々が、地域社会に於いて、主体的且つ充実した生活を安心して送ることのできる福祉支援システム等の構築を引き続き目指していききたい。
- ・様々な団体や市民とコラボして、活動の幅を広げると同時に深さも深めたい。
- ・市民の活動団体との交流を深め、福祉サービス以外での横の繋がりを大切にしたい。世代交代を含めた若者の参加の場も積極的に行う。
- ・災害対策・救急医療対策地域包括ケアの推進
- ・環境衛生に関する講習会、他業者との交流・講演なども考えている。
- ・地域の繋がりを活かしつつ、協力施設を募る。各施設の強みを活かし、イベントや研修会の内容により中心となる施設が変わってくるような流れをつくっている。
- ・高齢者や障がい者でも自分らしく住み続けられる市にしたい。他の市町村の住民が住みたくなるような市にしたい。マイナンバーなどを活用して、誰もが得意分野を活かして、苦手分野を助け合えるシステムづくり。

- ・ 周辺市町村からのアクセスを良くし、多くの人々を市内へ呼びこみ、越谷市の魅力を十分に発信することを目標にしてほしい。当組合では、「田んぼアート」という越谷市の魅力の一部を担っている。
- ・ 「三世代交流事業」少子高齢化、核家族化が進む中で、子ども、お父さん、お母さん、祖父母世代が、一同に集まり、ユニカールを通じて世代間の交流を図る目的で実施している。
- ・ 越谷市のみに取り組んでいることは、特にない。
- ・ 今ある資源からより調和のとれた街並みをめざすべく、越谷景観計画に沿った勉強会から当協会並びに各社努力で貴所への提案などさせていただいている。
- ・ 環境をテーマに体験できるイベント、地域で住民が参加して環境を守り、発展させる意識を育てる。子ども会の参加を促し、子どもの時期から盛り上げていくことが大切。
- ・ 障がいのある人がずっと住み慣れた地域で生活できるように。
- ・ ようやく官と民の連携が少し進んだのではないかと。子育て支援では、出生数も多いが、まだ足りないものが多い。保健分野（母子保健）との連携が統括できたことでようやく進んだ。個別ニーズに対応できるように今後も進めたい。今までは、安い賃金でボランティア的要素を含みながら活動を続けて来たが、若い母たちに仕事として選んでもらえるようにならなければ、団体の維持が難しいと考えている。今後、公設民営のものが増えるといい。
- ・ いろいろな人が関わられるように「1日子ども商店街」「チョットチャレンジ事業」等で不登校の子ども、精神障がい（にじさんぼ）、身体障がい者（わらじの会、NPO障がい者に職場参加を進める会・他個人・わらじの会）とつながっている。公園などを利用し、体を動かして関わり、悩みが話せる場をつくりたい。年齢別対応では伝承されない為、異年齢の関わりが大切
- ・ 地域に根差したビジネスの立ち上げ支援
- ・ 知的障がい児、発達障がい児の支援、貧困世帯の無料塾、公教育、学童保育へのプリントアプリ紹介と導入サポート
- ・ 会員には負担になるが、積極的に活動していただく年齢を引き上げるしかない。各部門にも65歳を目安にしているが、今後は70歳程度まで積極的に参加してもらいたい。
- ・ 刑法犯の認知件数は、平成14年から一貫して減少しているが、再犯者の件数はあまり減っておらず、再犯率が最近では、約50%を占めている。このような状況を踏まえ、更生保護活動を一層推進していく中で、行政や関係機関・団体と協力連携を図りながら、社会を明るくする運動をはじめ再犯防止推進活動等、様々な事業に取り組み、犯罪や非行のない安全・安心な明るい地域社会の構築に寄与していききたいと考えている。
- ・ 介護保険事業の多様なサービスBに協力し、補助金をいただいている。現在のところ、養成に対応できる件数は少ないが、今後、会のメリットを打ち出し、会員増強に力を入れ、友愛活動によるサービスBに対応できるよう取り組んでいきたい。
- ・ 施設設備の充実、特にトイレの更なる改善が利用を高めると思う。体育施設については、交通の便によい北越谷駅を利用し、第一、第二体育館の早急な見直しをし、観るスポーツとプロスポーツの充実をはかること。そして、収益をはかることが未来の発展になる。
- ・ 交通安全パレード参加で、市民への周知。多職種連携していく。看護としてできること。市民への啓蒙活動等をしていく。
- ・ 臨床、研究、養成などの機関が連携しやすい環境にあり、発信、実践モデルができればと考えている。
- ・ 健康体操を普及し、市内の健康増進を高齢者対象として寄与していく。市民の保健に寄与する。

- ・ 小さな法人だが、日々の経営努力や運営努力を惜まず、第一に障がいのある利用者の衣食住を実感してもらうために“自分たちに何かできるか”をテーマに法人全体としての課題にし、取り組んでいる。
- ・ 市内に所在する大学、①文教大学、②県立大学に詩吟（漢詩、和歌、俳句、新体詩等）を普及し、若者に伝統文化を伝えたい。10/26 県大 20 周年記念大学祭に参加する。
- ・ 児童館コスモス職員に対して、アマチュア無線施設の修繕の要求を繰り返し実施している。青少年に対して、科学に関心を持ってもらうためコスモスの無線施設の利用者を増やしていきたい。
- ・ 会員の活動の積極的発表を促すほか、地域での活動を宣伝するなど、文化芸術活動に参加しやすい機会あるごとに発表を行うことで見せることを推進している。中核都市という格付けを支える為にも郷土資料館、美術館などの文化芸術の発表や鑑賞を他の楽しめる環境を訴えていきたい。
- ・ 団体を強くしていくために若い役員の加入を自治会等を介してよびかけているが、現在、難しい状況
- ・ 魅力ある地元になるよう住みよい環境づくり
- ・ 災害やその他の不慮の事故によって生じた損失を補填する農業共済事業のほか、様々な品目が一括加入でき、自然災害に加えて価格低下などのリスクも補償することができる農業経営収入保険事業の推進を通じて、越谷市にお住まいの農業者の経営安定に取り組んでいる。
- ・ 越谷市歯科医師会が社会資源となり、乳幼児から高齢者を支援し、安心、安全なまち作りに取り組む。他業種の職種を理解し、お互い手助けをする（業種の範囲を超えて）
- ・ 市民に対して手話への理解と手話の普及のために越谷市の協力を得て、毎年一回手話言語理解促進イベントを開催することによって手話のできる市民が増えて、聴覚障がい者が暮らしやすい街であってほしい。
- ・ 越谷市の伝統的手工芸品を市民に広く伝えていく活動の継続
- ・ 私たちが取り組んでいる冒険あそび場づくりは、子育て世代が自分の子どもの育ちに必要な自由な遊び場を自ら実現しようとする市民活動です。私たちの活動に係わり、活動の担い手側となったママやパパたちは、冒険あそび場や子育て支援だけでなく越谷市のことに興味を持つようになります。行政からの受け身の子育て支援だけでは得ることのできない街をつくる一人の市民としての成長がそこにはあります。このような市民自らが行う活動（市民活動）は、越谷市をよりよくするために自分には何ができるのかと考える市民を育てることにつながると確信しています。さらにこの活動を通してスキルアップした市民を NPO 法人として雇用できるしくみを今後は模索したい。
- ・ スポーツが盛んであり各 13 地区を起点に市民体育祭の対抗戦は年々充実してきている。弱みと感じるのは他地区の交流が薄い。当団体の取組は各地区のスポレク委員長の懇親を深め各地区の委員の交流や練習試合等で活性化に取り組んでいる。これからも広く交流を深める企画に取り組んでいきたい。
- ・ 市民に必要な防災を通して地域コミュニティを活性化させ点在している「越谷の強み」とつながっていきたい。
- ・ 小さな市民団体ではあるが、以下の点を市民に広く知ってもらう活動をしている①“白杖”イコール“全盲”ではない・さまざまな見えにくさがあること。②“障がい者”は“カワイソウ”ではない。一人ひとりが輝いて生きていることを知ってもらう。ななさばこしがやや、ほっと熊谷、労働フェスタなどを通し啓発につとめている。
- ・ 支援を必要としている当事者と支援をしたい民間企業、地域住民、学校等の中間支援組織として活動し、同様の団体が活動を継続することができるよう、ネジ巻きの役割を行っている。今後は、市内で活動したいと考えている団体同士のコミュニティを形成できれば多様な支援へと繋がるのではないかと考える。

- ・ ①レイクタウンを埼玉県を代表する地区にしたい。レイクタウンでのイベントへ地域の大学の参加要請。「獨協大学高松ゼミ」様など②レイクタウンの自治会の活動サポーター、ホテルの飼育とホテル狩りなど
- ・ 組織づくり：お金集めができる、新しい若者が参加しやすい＝考察中

（４）問 10 越谷市のまちづくりについて、ご意見やご提案（アイデア）等お持ちでしたら教えてください。

- ・ 公共事業を増やして欲しい。仕事が少ないと、新しいメンバーも増えないしメンバーの高齢化も進む。
- ・ 越谷市のインフラは整備できたと思います。今後はそれを使って、人間的な成長をすることだと考えます。まず①文化芸術に力を入れる。資料館、博物館、美術館、シアターを作り、文化を高める。それぞれの館で文化の育成をする。次に②その中での活動を活性化させる。潤沢な活動資金の準備、企業の社会貢献枠をひき出す。新しい分野の団体や、若者の企業を保護し、育成する。既存の団体は活動を継続させるとともに、後輩団体の支援、協力体制を作る。上記の内容の支援や、マネージメントを市民活動支援センターが市民活動連合会等と協力の上進める。③活動の成果を次世代に残す、ルールを敷く。④将来への豊かな発展へとつなげる。越谷の越谷らしい独自のまちづくりをし、誇ることのできる越谷にする。人間味あふれる、温かい心情的なまちにする。
- ・ 問 8 に於きまして「建築物の無理のない保存とリノベーション」と述べましたが、空き家・空き店舗の再活用を進め、素の仕上げを残したスケルトンを活用する事により手軽に起業できる可能性ある界限が創り出せると考えます。それには従来の交通規制を若干解除し、一方通行とレバーキングゾーンを設けたり、プランテーションを充実させ、ここよみ木陰のベンチを設けて、高齢者や子どもたちがその場に佇み平日、休日を問わない再活用がビジネス、休憩やすらぎに変化してまいります。リノベーション面でも最近では用途変更の建築法規が緩和されました。空ビルや空き教室などビジネスでも教育環境でも多角的に利用できるはずで。ちょっと似通った利用が隣り合うことで、様々なシーンが生まれると考えます。
- ・ 越谷市はどんな市に発展しようとしているのかよくわかりません。住宅があらゆる空間に建てられ身勝手な発想ですが、息が詰まりそうです。子どもたちが遊んでいた空地や季節を知らせる畑や田が急速になくなってきています。田園都市を捨ててベッドタウンへと急速に進むまちづくりが越谷市の行政なのかと誤解を恐れずに書いてみました。農業を大切に行政-続けられるような支援を国も市も考えてください。食料は国産を希望しています。都市計画に高齢者、子ども、市民を守る視点で作ってください。例えば公共交通の拡充道路幅の拡充で歩道、自転車道の確保。高層ビルの建設を許さないで越谷市の景観を守る。
- ・ 委員会の委員に任期を設けるべき。再任にも上限を。過去の歴任年数を考慮すべき。新しい考え方を取り入れていかないと改革はできない。よりスピードアップする必要がある。それには若い人の力が重要。高齢者の占める割合に上限を設けるべき。
- ・ ウォーキング増進のため歩道の整備、夜歩ける場所、旧 4 号の両歩道を利用
- ・ 住民がどれだけ自分ごととして考え参画するかが重要だと考えます。話し合いの場に住民参加する形に進めてきていただいていると思いますが、話した人が、決めた人が、自ら動き出す仕組みと仕掛けがあると良いと思います。まかせて文句を言う住民からひき受けて行動する住民へ！たくさんの方が“越谷市を誇れる街に自分がする”という気持ちを引き出したいです。
- ・ ①新庁舎をはじめほかの施設や道路など新設される場合は、ぜひ障がい者団体に青写真を見せていただきたい（バリアフリー新法に基づいた建設や改善）。②防災マップや選

挙公報の音声化。③災害時の福祉施設へのサポート体制を早急に考えていただきたい。

④教育機関で、自転車の交通ルールの徹底教育をお願いしたい（福祉学習）

- ・現在の都市計画マスタープランに特に不満はありません。
- ・行政サービスの片寄りを感ずる、市全体バランスの取れた町づくりに着手してほしい、都市計画の見直しも必要では
- ・1. 能楽堂に屋根…、野外のこの姿が一番良いかもしれませんが、二度と建て直しの出来ないことから囲うことでさらに利用度も高まり末永く…先代の島村市長に「屋根をかけるとしたら・・・」構想をうかがったことなどあり。2. 歩道の拡張…、歩道の幅の狭いところは、自転車、中には歩きスマホの人ありでさらに歩きにくくしているので、歩道の分離や拡張など純に考えて実現に…
- ・交通の便が良く、またそれなりの規模の公共施設もいくつかあるので観光イベントなどをやってほしいです。
- ・イベントがもっと多いほうが良いと思います。
- ・越谷B級グルメコンテスト（農産物を使った）。越谷B級グルメ料理講習会（広めるために）。道の駅計画の加速に伴う、農産物の販路拡大
- ・越谷市は埼玉県の東南部の中核都市であり、人口約35万人を擁するまさに中核都市であります。今後につきましては、埼玉県東南部の中核都市として、リーダーシップを十分に発揮し、政令市を目指し取り組んで欲しいと思います。政令市の実現に向け大いに期待しております。なお、私どもは、水道というインフラを整備する組合でありますので、特に老朽化しているインフラの再整備は急務でありますので、積極的な取組みに大いに期待しておりますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。
- ・①災害に強いまち、想定外、予想不可能な災害がいつ、どこで起こってもおかしくない状況にある昨今です。これまでの災害の教訓を基盤にして、「まちづくり」のミニマムエッセンスから見直していただければと思います。②教育環境がよいまち、これからのまちづくりと子どもが健全に育つことは、車の両輪ともいえるのではないのでしょうか。子どもの側に立った各部署の連携が望まれます。③医療関係や保健サービスが充実したまち、サービスをうけたい側に立った在り方の検討。
 - ※②と③については関係部署の膨大な作業量に伴う部署間の連携の希薄さが要因の一つになっているのではないのでしょうか。なにを合理化し、何を重視していくか見極めながら進めていただければと思います。
- ・1. 良い市だと思っている（不満なし）、あえて言えば（1）企業の衰退がみられるので、経営支援の機会が与えられるとうれしい（2）市会議員数が多い→削減するべき。
- ・交通アクセス（鉄道網、道路網）をしっかりとしたビジョンを作成し実現することによって、将来の人口減少に歯止めをかけることができると思う。まずは第一優先として取り組んでもらいたい。その後、生活環境について安全面等を考えてほしい！
- ・公民館の職員などでやめてしまったり、病気（心）になってしまう方が多いと思う。その結果、様々な業務に支障が出ているようなことがある。職員の方々がすぐに辞めてしまわないように市としてももう少し何かできないものかと思う。また、職員の方たちの能力の差が激しいと感じることも多々ある。中にはコミュニケーション能力に欠ける若い人もいる。もう少し、トレーニング等で民間と差のない対応をしてほしいと思うことがある。私たちのように20年以上活動しているグループを対応よく、うまく地域に生かしていただきたい。これからの越谷市に期待しています。
- ・現在、越谷市地域包括ケア推進課と越谷市リハビリテーション連絡協議会の共催にて、越谷市介護予防リーダー養成講座を実践しており、「通いの場」の構築を推進しております。大変好評をいただいておりますが、参加団体の少ない状況でございます。越谷市の地域包括ケア推進においては、既存のデイケアでもなくデイサービスでもない、互助のシステムで運用される「通いの場の構築」が非常に重要と考えております。この講座

も4年目を迎え、越谷市内で展開される通いの場も増えてきておりますが、せっかく通いの場が立ち上がっても、終了を余儀なくされる団体もございます。我々の団体とすれば実際の講座を運営することは可能ですが、住民の方々にこの事業を周知や経費を含めたフォローをすることは中々難しい状況です。是非とも行政の皆様が中心となり、越谷市の地域包括ケア推進のため、今以上の住民への周知や立ち上がった通いの場の手助けをお願いしたく存じます。行政とリハ職の団体がここまで密に連携で来ている自治体は他にないと思っております。地域包括ケア「越谷モデル」の成熟に向け、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

- ・昔ながらのコミュニティの復活ができないか。高齢者と幼児の共同生活の場
- ・市民ホールを作ってほしい、会議室やちょっとしたパーティーのできる会場。今、越谷市には30人～集まれる会場がギヤザホール1軒しかなくコミセンの解体後会場不足が見込まれてます。運営は大変でしょうが、やはり必要なのではないでしょうか？
- ・1. 市民が共有できるまちづくりビジョン。2. アーバンデザインによる景観まちづくり。3. 土地利用基本計画とそれを実行する条例。4. ランドバンクによる土地の創造的活用へ。5. 継続可能な自立都市（FEC自給圏）。6. 市民エネルギー会社の設立。7. クラインガルテン（滞在型市民農園）事業の推進。8. 居住福祉の住宅政策。9. 市営住宅の再生。10. 地域循環居住の推進。11. 自転車を活用したまちづくり。12. コミュニティ道路の整備。13. 市民が主体となった身近な景観まちづくりの推進。14. 生垣推進条例。15. 越谷まちかど博物館構想。16. 地区別まちづくりの見直し。17. 元荒川水曜バスの運行。18. 地域貨幣、地域ポイント制度の導入。19. ソーシャルビジネスを創出。20. シティマネージャー制度の導入。21. 人口増加作戦。
- ・全国の中核市の越谷市に歴史保存施設がない。県南近隣の自治体は、資料館、博物館、美術館のいずれかを保有。越谷市にも施設をお願いしたい。
- ・小中学校の授業に算数・数学の特別先生を派遣して、金の卵を育て、底辺のレベルアップをする。将来越谷市出身のノーベル賞受賞者を狙う。防災訓練は総合ではなく、各地域にて防災訓練を行うことで、市民が主体となって意識が変わると思う。ナンバープレート越谷は、全国に対して素晴らしいPRになっていると思う。
- ・安全で暮らしやすく優しい街だと感じる。これからも積極的な姿勢で進むことを期待している。
- ・1. 越谷市の人口減少と高齢者の増加、生産者人口減少が予想される。人並に生活できる住環境を整備してほしい。2. 市議会には、スピード感をもって、正確な情報開示の下、市政に取り組んでほしい。3. 各種広報冊子が氾濫している。素晴らしい内容だが、具体的な数字を伴った目標設定が必要ではないか。検討してほしい。
- ・少子高齢化が進んでいる。高齢者と若者と障がい者が一体化した環境の施設、支援、雇用、子どもをあずけられるまちづくり。交通が不便さを解消し、病院と食料店が近くにあること。子どもたちの施設は、エアコン、折り紙はちらし、建物が老朽化している為、災害時は危険。一度見てほしい。
- ・食の多様化で様々な弊害も起こっている。食は、健全な社会をつくる土台であり食育は、健康、文化、環境、農業などの生活の質すべてに直結する生涯学習。食生活改善推進員は、今後も正しい知識・情報を学び、伝え、市民の健康づくりを応援する。
- ・住宅地、商業地、田園と多様な面がある為、どこに焦点をあてて、関連づけるかが問題。レイクタウンも完結し、他地域との結びつきを感じない。越谷駅近くの旧市街地は、商業地として賑わいがやっと再生してきた。若い人々に活動の場を与える施策に力を入れてほしい。芸術や文化などで、よりよく人生を過ごすために価値や豊さを感じる取組を充実させる施設や内容を設けてほしい。水郷越谷と言うものの水に触れることができる場所が少ない。例えば水上アスレチック「水のワンダーランド」はどうか。

- ・ 今後とも行政側と協力して、保健サービスと公衆衛生、福祉の向上を目的とし、業務に邁進する。災害対策・救急対策への協力推進をし、越谷地域の安心安全の一助として活動したい。
- ・ 災害対策の対応を細かく準備する必要があり、一つの準備ができたから市民に告知していただくことが大事ではないか。災害スピーカーを多く設置してほしい。よく聞こえない。
- ・ リハビリスタッフが各施設から地域の活動（地域ケア会議等）に参加する際の金銭面のサポート等がより充実することで各施設からの派遣がさらにスムーズで活発になると感じている。
- ・ 高齢者や障がい者（大人から子どもまで）が自分らしく生活できるシステム。メリットは、65歳以上の定年退職後の方でも活躍している場があり、役割を作ることができる。子どもから大人までが相互に助け合うことができ、ネットワークもできる。デメリットは、想像していた支援と違った。事件など問題が起きた。⇒マイナンバー管理（行政管理なので住民も安心）や、食ベログのような評価システムを用いることで、解決可能。
- ・ 当組合では、災害に強い町づくりを提案する。越谷市は、地形的に水害や時には竜巻の被害にも遭った。しっかりとインフラを整備されていれば、被害を最小限に抑えることができる。
- ・ 子どもと高齢者支援は、ある程度整備されていると思う。高校卒業～40歳ぐらいまでの若者政策についての文言を加えてほしい。“若者が生きがいをもって暮らせる街越谷”例：就労支援、結婚支援、出会いの場等
- ・ 他県、他市と人口統計、推移を比較して成長が期待できる中核市として、公共施設、付属構造物から調和のとれた配色を先導し、街の景観をライフラインと合わせて整備し、観光協会が商工会議所と連携し、鴨のタータンチェックカラーを市内の全駅のロータリーなどのアクセントカラーとして施す越谷の色を感じてもらおう。鴨で経済効果を上げられたら最高。また、それぞれのコミュニティが一同に会し、町を考えることも有益かもしれない。
- ・ 子育て政策を拡げてほしい。一人親、貧困家庭への配慮が必要。NPO法人、市民団体が活動できるように行政支援があればと思う。活動メンバーは、高齢化が進んでいる為、若いメンバー子育て活動に関わることが急務と考える。
- ・ まちづくりは、市民を動かすために話し合う場をつくること。例えば、「レイクタウン水辺の連合会（現在は、観光協会事務局）」は、自治会、マンション管理会社、NPO、観光協会、越谷市、イオン等が加盟している。10年目となり、観光協会に変わった際、存続が危ぶまれたが、そこに住む住人、NPO等も繋がりレイク10周年イベント、お祭りが自治会、マンション管理会社が開催を継続している。この連絡会では、越谷市もイベントの事前説明をしてきている。協力しようという方向に動いていると思う。
- ・ 介護保険がスタートして19年になり、利用者が4倍あまりとなっている。保険税を利用して少々のお金を支払うので難しい事だと思うが、もう少し包括センターでも相談できればと思う。高齢者は、日曜日に体調を崩すことが多い。越谷市内の活動センターには、130件あまりのボランティアが活動している。このような介護が必要な人たちも自治会館を利用しやすくなればと思う。高齢者と子育て中の親子が立ち寄れる場所になればいいと願っている。
- ・ 泉大津市立東陽中学校の子どもたちの自立学習を支援するアプリ（カルテック）に関するレポートにあるような取組を越谷市でも取り組めないものかいつも考えていた。
- ・ ①13地域を通り抜け“市内全域（一周）駅伝競走大会”が実施できるコースを各地域が連携し、みんなで考え工夫をし、作成していくことができたなら素晴らしいと考える。②市内蒲生地域のグリーンベルト（蒲生～南越谷一帯）を再開発し、もっと有効にした親しまれるグリーンベルトにできないか。③市内蒲生～北越谷までの鉄道高架化が実現し、東西交流ができたが、その恩恵を活かす工夫ができないか。④綾瀬川と4号バイパス

- ・ スの交差部分を高架化し、散策コースに生かせないか。⑤施設の拠点づくり、スポーツ施設、ホテル等、集客力を高める思い切ったアイデアで再開発をはかる。
- ・ 地域のコミュニティ強化、高齢者が自分のできる役割を持つ
- ・ 県立大、文教大、越谷保専、他の教育福祉、リハの養成、研究機関の存在に加え、独協医大HSPもあり、これらのネットワークでなにができるのかアイデアを出し、取り組んでいけると良いと思う。私の領域としては、障がい児の医療、療育、リハ、教育などについて研究実践ができると良いと思う。
- ・ 機能訓練運動を普及していく為、「健康柔体操」を各地で開催していく。災害に準備し、参加協力していく。
- ・ 今の越谷で知的障がい者の利用者がいる施設などで働く人々は、良い支援をしたいが、対価を得られないからモチベーションが上がらない為、仕事が長続きしない状態に陥っている。着目してほしい。
- ・ アマチュア無線とは言わないが、青少年の科学に関する興味関心の向上の為、大々的なイベント等の取り組みに力を入れても良いと考える。
- ・ 全国の中核都市と比較しても胸をはれる文化の香りを感じられるまちにしたい。施設だけではなく、文化・芸術活動の実践が当たり前市民の日常生活に於いて可能な環境を施策として実施してほしい。文化が多様化する中で新しい文化を支援するなど、文化都市宣言を具体化する。懸念している郷土資料や文化芸術作品の散逸への対応は、急務だと感じる。
- ・ 大型店ができたことで、市外から越谷市にお客さんが来てくれることは良いことだが、個人商店は閉める店も多くなった。活気を取り戻すために若者が必要。自治会、青年団、消防活動への積極的参加、環境づくりを越谷市はリーダーシップをとってほしい。
- ・ 少子高齢化を常に頭に入れ、市全体で、5年サイクルで（3年でも1年でも良い）評価・検証を行い柔軟な対応をする。取組の優先順位も審議会等で話し合い評価検証を繰り返し、対応する。防災全般に対し、毎年市の考えを市民に対し、市長が強いメッセージを行う。自治会が機能しないのであれば防災の視点として、何らかの形で市民に参加を呼びかける（急ぐべき）→（子供から小学校で防災の授業を必ず入れる）。市長が市民に向けて市民にも自分を守る責務があることを常にいろいろな場に発信すべきだと考える。
- ・ ①常設の冒険あそび場の設置・子どものやりたい遊びや行動が尊重され場をつくることになる。→子どもの権利を尊重し自己肯定感をはぐくむ場所となる。いつも同じ大人（プレーリーダー）がそこにいることで、子ども自らが気軽に相談できる場をつくることになる。→専門機関との連携で相談を解決へと導くこともできる。焚火が可能となると子ども自らの煮炊きができる。→子ども食堂の役割も担える。バーベキュー場では実現できない地域の交流の場ができる。子育て世代が担い手として関わることで子育て世代の交流の場をつくることできる。→子育ての悩みを共有することで虐待の予防につながる。室内の利用できる場も一緒に設置することで、遊びの内容が広がる。→乳幼児親子も訪れやすくなり、高齢者も訪れやすくなる。→世代を超えた地域の交流の場となる。②児童館の指定管理者制度による民間運用、子どもの権利を保障する場としての位置づけをすべき。市民活動のスキルを活かした魅力的な運営の実現③学童保育室の民営化、研修（プレイワーク＝遊びを通して子どもと関わること）の充実により、子どもの放課後の居場所づくりの充実をはかる。
- ・ 河川を含めた防災設備の充実した公園や運動場のある特定の場所に集中するのではなく利用しやすいところに作成してほしい、又その計画を行う市を望みます。調整区域等の区別なく下水道を計画し川に下水が流れ込むことのない町づくりが水郷のまち越谷として必要、ホテルやあゆの住める川を目指す市が越谷のまちづくりではと思います。

- ・ 越谷市は伸び代をたくさん持っているとは捉えています。市民活動が活発であり、市民がイベントに各々立場で参加し、将来に対して自分の人生も越谷市もまだ上昇すると考えている事こそ、市の強みであり、伸び代であることでしょう。しかし現在の活動は点在している状態は残念です。これを線でつなぎ面状とし、市全体が活気あふれるまちとなる為に、行政としてリード&サポートをして頂きたいと考えています。伸び代の1つとして市民の成長があると思います。越谷市は「何もない」まちではなく魅力が散らばったまちです。お祭り等の伝統、歴史、食材、自然。しかし市民はその良さに気づかず、自慢をすることもありません。市民講座等を通じて市民に誇りを持って欲しいです。全国どこに行っても知られている憧れられる越谷市になることを願っています。
- ・ 越谷の夏は暑すぎます。もっと樹木を植え、“川のあるまち”だけでなく、“川と緑のまち”を目指してほしいです。20代~40代、若者の意見を積極的にヒアリングし。若い生活力のある越谷市としてレイクタウンと共に発展して行ってほしい。③お役所の“タテワリ行政”をなくしていくこと。少子化で学校を閉鎖するのではなく、半分老人施設、半分小学校として共有する等、全国にいくらかでも好事例があるので、ぜひ取り入れてほしい。
- ・ 問9で答えた2.4.14のようになってくれればよいと思う
- ・ SDGsはグローバルで地球規模ですが、ローカルに落とし込み、越谷でできること、すべきことを実践する事が大切だと考えます。17の目標を市内それぞれの団体で何ができるか？1つになって何ができるか？話し合い市民の皆さんへPRする場があると共助の意識が地域へ根付くきっかけになると考えます。是非越谷市には、その為の旗振り役として公助のイニシアチブを発揮して欲しいと思っています。
- ・ “子供は地域の宝”大相模調節池の水面と周辺の緑地や公園で、仮称「子供デイキャンプ大会」のお祭りを行う。水遊び、バーベキュー、サイクリングなどのメニューで、主催は、行政、学校関係、市民、企業の連合体。対象は小学生以下（大学生がサポート）。時期、夏休み期間中。以上
- ・ 歩道を含めた道路の整備が必要だと思います。歩道が狭い所、住宅に近接している街路樹の植替えが必要です。交差点付近のガードレールの設置など。歩道がない指導の拡張。台風等による浸水を無くす工事など。

②事業所アンケートの記述全文

(1) 問6-2 「問6-1 本市は事業が行いやすい地域だと思いますか」で答えた理由を教えてください。

(そう思う)

- ・ 児童含め人口が多い為
- ・ 交通、人口
- ・ 移動、活動がしやすい立地であるから
- ・ 自然も多く、住民の方の理解もある。
- ・ 駅、道路等での都内アクセスが容易、人口が増加傾向にあり商売として何業でも成り立ちやすい。
- ・ 立地条件がいい。
- ・ 得意先、納品先から地理的に近い。
- ・ 東北、甲信越、静岡、関東全域を営業エリアとしている事からどこに行くにも（車）交通便利
 - ※高速道路を利用するのに便利である
- ・ 都内近県に車で仕事に行きますが、道路・整備が良く時間がかからない
- ・ 交通の便がいい。
- ・ 生まれ育った街の為、知り合いが多い。
- ・ 住人の移動が意外に少ない。
- ・ 越谷市内（埼玉県内）に事業内容に適した業務がない。殆ど出張が多い。
- ・ 首都圏からの交通の便が良く、他県との接続も良い。

(分らない)

- ・ せんげん台の街の発展がとぼしい、駅を高架にしてほしい、古い。なので、若い人が少ない、消極的な街の印象、長く住んでいる人の考えが古い。
- ・ 他市に居住及び事業をしたことがないため、比較的な表現をすることができない。
- ・ 周辺が調整区域となっており事業拡散が困難。新越谷駅・南越谷駅から遠く、路線バスもなく電車での通勤が困難。周辺の他自治体（草加・春日部・八潮）と比べると事業所税の負担が大きい。
- ・ 立地として、交通はよいと思っているが、人が集まりにくい。（立地だけの問題ではないと思いますが）
- ・ 自由度に制限がある
- ・ 他の街で事業をしたことがない。
- ・ 商業施設の集客力による。

(そう思わない)

- ・ ①4号線が常に混むので都内に出るのが大変です。②高速が横一本なので利用が難しい。③市内もおかしなところが混んでいる。
- ・ 表面的には、魅力がありそうですが実際は？
- ・ 越谷市駅近くで営業しているが、購買層が高齢化して非常に客が減っている。
- ・ 店が多い。

(2) 問7-2 「問7-1 今後も今の場所で事業を続けたいと思いますか」で答えた理由を教えてください。

《今後も続けたい・できれば続けたい》

- ・ 出店したばかり、10年以上は続ける目的だから。
- ・ 言い方は良くないですが自然災害が比較的少ない為
- ・ お客様が良いから。
- ・ 仕事のボリュームは東京都内の方が大きく、公的補助もあるので将来はわからないが、居住している地元の仕事を開拓し、できる限り貢献することが大切だと考えている。
- ・ 客数、立地
- ・ 知名度が上がってきているから
- ・ 長く事業を続けたいと考えている（福祉事業）
- ・ 慣れた地域なので
- ・ 永年事業を行っているため
- ・ 移転するにも費用がかかることと、現時点では、移転先候補がないため
- ・ 地域密着型の職種だから
- ・ 長年努力して現在があります。
- ・ 立地条件がいい。
- ・ 得意先、納品先から地理的に近い。
- ・ 長期にわたりこの地で業務をさせて頂いて来ておりますのでこの地域に根づいて来た為、他には考えられない
- ・ 他に行く理由がない
- ・ 店舗併用住宅で容易に移動できない。
- ・ 通勤の利便性（社員）
- ・ 人口が多く都心に近いので大きな市場となる
- ・ 不自由がない為、今の場所がいいと思う。
- ・ 良い場所があれば考える。
- ・ 働きやすい。
- ・ 出張が苦にならなくなった。
- ・ 当社の物件は、すべて造林地区内にある為。

《分からない》

- ・ 少子高齢の度合いによる。
- ・ 購買層の高齢化で消費意欲が減少する一方であり、若年層はレイクタウンに集中している。

《できれば場所を変えたい・すぐにも場所を変えたい》

(記載事業所なし)

(3) 問9 事業に取り組まれている中で感じる「越谷市の強み(良い点、生かすべき点)」、「弱み(悪い点、改善が必要な点)」があれば教えてください。

《越谷市の強み(良い点、生かすべき点)》

- ・ 田舎だから治安がいい
- ・ レイクタウンができたことにより人の流入が多くなった
- ・ おおらかな空気がある(生活、人付き合い)
- ・ 中核市として一定の規模があり、総じて住みやすい場所であるが、地域の拠点都市となるよう中小事業者への補助・育成、魅力ある「街」創りに力を入れることが大切だと思う。
- ・ 東京に近い事
- ・ 都心までのアクセスの良さと自然豊かなところ。中央市民会館はじめ魅力的な建造物も多く街の景観が素晴らしい。
- ・ 行政の考えが強い。統制が取れている。福祉が充実している。
- ・ 都心に近い
- ・ 東京に近い。
- ・ 人々の関係性が半分農村型半分都会型でバランスが良い
- ・ 日光街道沿いに面し、交通手段が良い。又、東武線、JR線と通勤形態にも恵まれている。
- ・ 物流面
- ・ 都心にも近く住宅も増えたのでもう少し多くの顧客を取り込みたい。
- ・ 都心への利便性が良い
- ・ 人口が多く大きな市場がある。都心に近い。
- ・ 土地が広い。災害が少ない。
- ・ アクセスがいい。
- ・ 自然災害が少ないが、いつも元荒川の決壊が恐れられる。
- ・ 人が集中する為、武蔵野線とスカイツリー線の交差を活かすべき。
- ・ ベッドタウンとしての人口増加。旧宿場町の歴史を活かせる。旧家や史跡等の魅力。
- ・ 越谷レイクタウンがある(県内一の集客力、県外から多くの人が集まる)。都心部より近い立地。人口が増加している。

《越谷市の弱み(悪い点、改善が必要な点)》

- ・ 暗い、オシャレじゃない、若い人いない
- ・ やはり人口が多いが産業が少なく、税収が無い為市民税の改善してほしい
- ・ 高速、道路本数、4号バイパスのありえない渋滞
- ・ 他の県内拠点都市(川口・所沢・川越)と比較し、市の活力アップへの取組が遅れているのではないかと感じる。東部の拠点都市として、もっと周辺から人が集うような施策を企画し、一定期間継続して実施する必要があるのではと思う。
- ・ 特に弱みは感じません。強いて言えば市全体が標高の低い平地なので水害に弱い点があります。更なる対策が必要かもしれません。
- ・ 行政主導が多い。新規申請の通りづらさ。書類が多い。
- ・ (出羽地区は)交通の便が悪い。飲食店等が少ない。夜間は真っ暗で防犯面が不安。
- ・ 鉄道を挟んで垂直方向に離れると急激に不便になる。網の目的な交通網の整備を願いたい。
- ・ 日光街道に面した所で交通量が多いと同時に道路幅が狭いことが難点である。
- ・ 普通の町、特色があまり感じない気がする。
- ・ 土地価格が高い、街が地味すぎる

- ・ 地盤の安定性、水はけの悪さ
- ・ 東西の主要道路が少ない。
- ・ 住宅を建てる土地が少ない。障がい者が住みづらい。
- ・ 道路整備ができていない。ゴミ（食べ物と容器）を平気で捨てる。犬のふんの始末が悪い。
- ・ 道路の整備が計画的になされていないように思う。
- ・ 年間を通して象徴する物がない。
- ・ 観光地としての開拓。宿泊施設。盆地（埼玉県）の為、近くに山や川等の自然がない。
- ・ 都市化が進むことで自然が減ってきている。越谷地区の商店街に人がいなくなっている。東西を横断する道路が少ない（南北と比較して）

（４）問１０ 将来、よりよいまちづくりを進めるため、「越谷市の強み」を生かしたり、「越谷市の弱み」を解決するために、事業所として現在取り組んでいること、これから取り組みたいことはありますか。

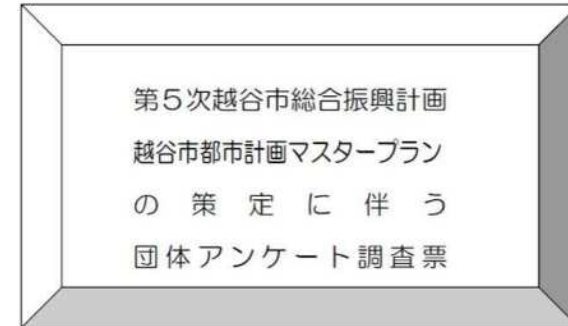
（16 ページに全文記載）

（５）問１２ 越谷市のまちづくりについて、ご意見やご提案（アイデア）等お持ちでしたら教えてください。

- ・ 下水など含め地盤がよくないのは承知しています。ただ、対策がなっていない、市役所に電話しても反応がダメ、若い人が出て話にならない、下水に関しては最低、せんげん台駅前特に商業施設を作ること←春日部、三郷のような、レイクタウンは遠い
- ・ 越谷ってレイクタウンしかないイメージですが、他にもカモネギちゃんやウメブクロー他もっとPRして経済を発展し豊かで住み良い街になると良いと思います。
- ・ 463号線沿いや東埼玉道路沿いに道の駅や、サンシティのような複合施設があれば利用したい。
- ・ 高齢者や障がい者に優しい街にしてほしい。学校や施設を増やしてほしい。バリアフリーにしてほしい。災害時に早く対応してほしい。
- ・ 自転車で町をめぐる、車道の片隅を思いをしながら利用している。車を運転していても同様。自転車専用道路、休憩所、商店等があり、楽しく暮らせることが望ましい。
- ・ 越谷市は、武蔵野線とスカイツリー線が交差している。ここを活かして何かを取り入れてほしい。IR誘致や場外売場（JRA、ポートピア）出張先の田舎町でこのような施設があるところは、イメージは悪いが事実楽えている。
- ・ 越谷市を拠点に首都圏（東京）、栃木県（日光）、茨城県（滝・海）、群馬県（温泉）、千葉県（成田空港からのアクセス）等々、他県への観光地へ向かう新しい宿場町としてのまちづくり。
- ・ 近隣に保育園がありますが、2歳くらいの幼児と手をつなぐのみで、大きい道路を渡るのを見てハラハラする。幼児同士もよくみかけます。保育士の充実を望みます。

V. 調査票

①団体アンケート



●ご記入にあたってのお願い

1. ご記入は鉛筆、ボールペン、万年筆など（黒または青色）でお書きください。
2. 最初から1問ずつ、全ての質問にお答えください。
3. お答えは、あなたの団体の考えに最も近いと思われる選択肢の番号に○をつけてください。
4. 「その他（ ）」に○をつけたときは、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入をいただきましたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れて **10月16日(水)** までに、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

越谷市 市長公室 政策課

電話 048-963-9112 (直通) FAX 048-965-6433

E-mail : seisaku@city.koshigaya.lg.jp

越谷市 都市整備部 都市計画課

電話 048-963-9221 (直通) FAX 048-965-0948

E-mail : toshikei@city.koshigaya.lg.jp

団体の基本的なことについておたずねします

問1 団体の名称を教えてください。(下の枠内に記入してください。)

団体名:

問2 設立して何年になりますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 4. 10年～15年未満 |
| 2. 3年～5年未満 | 5. 15年～20年未満 |
| 3. 5年～10年未満 | 6. 20年以上 |

問3 会員数は何人ですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 5人未満 | 5. 30人～40人未満 |
| 2. 5人～10人未満 | 6. 40人～50人未満 |
| 3. 10人～20人未満 | 7. 50人以上 |
| 4. 20人～30人未満 | |

問4 活動内容を教えてください。(下の枠内に記入してください。)

活動内容:

問5 活動頻度はどれくらいですか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 5. 月に1回程度 |
| 2. 週に2～3回程度 | 6. 年に2～3回程度 |
| 3. 週に1回程度 | 7. 年1回程度 |
| 4. 月に2～3回程度 | 8. あまり活動をしていない |

団体の活動についておたずねします

問6 あなたの団体が抱えている課題や悩みは何ですか。(3つまで○)

1. 活動メンバーが少ない、新しいメンバーの参加が少ない
2. 若者の参加が少なく、活動メンバーが高齢化している
3. 活動する場所の確保が難しい
4. 活動内容がマンネリ化しており、停滞している
5. 他の団体とのネットワークや交流をもつ機会が少ない
6. 活動の紹介や情報発信をする機会が少ない
7. 活動に対する市民や地域住民の関心が低い
8. 活動するための資金が少ない
9. 課題や悩みはない
10. その他 ()

問7 団体活動に取り組まれている中で感じる「越谷市の強み(良い点、いかすべき点)」、「越谷市の弱み(悪い点、改善が必要な点)」があれば教えてください。

(下の枠内に記入してください。)

越谷市の強み(良い点、いかすべき点):

越谷市の弱み(悪い点、改善が必要な点):

問8 将来、よりよいまちづくりを進めるため、「越谷市の強み」をいかしたり、「越谷市の弱み」を解決するために、あなたの団体が現在取り組んでいること、これから取り組みたいことはありますか。(下の枠内に記入してください。)

まちの将来像についておたずねします

問9 10年後、20年後の越谷市がどのようなイメージのまちになれば良いと思いますか。(3つまで○)

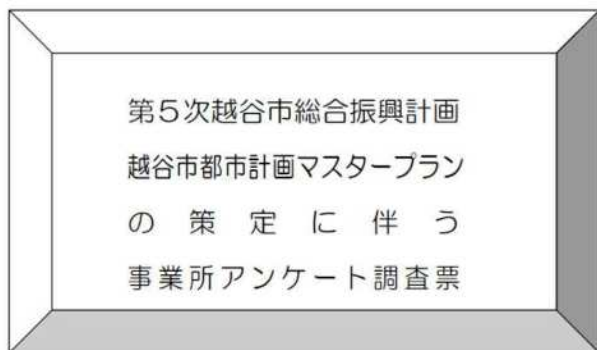
1. 誰もが利用しやすい、交通サービスが充実したまち
2. 水辺や緑など自然環境の良いまち
3. 歴史のおもかげと新しい文化が融合したまち
4. 産業活動が活発で、雇用環境が充実したまち
5. 日常的に買い物やグルメが楽しめるまち
6. 多くの人が訪れる観光のまち
7. 子育てしやすく教育環境が良いまち
8. 医療機関や保健サービスが充実したまち
9. 高齢者や障がい者などに優しい福祉環境が整ったまち
10. 生涯学習施設や文化施設が充実したまち
11. 地震、水害、火災などに備えた災害に強いまち
12. 防犯、交通安全の取り組みが充実したまち
13. 道路、河川、下水道、公園などの都市施設が充実したまち
14. 地域コミュニティが形成され、住民活動が活発なまち
15. その他

問10 越谷市のまちづくりについて、ご意見やご提案(アイデア)等お持ちでしたら教えてください。(下の枠内に記入してください。)

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

質問は以上です。お忙しいところご協力をいただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、10月16日(水)までに投函してください。

②事業所アンケート



●ご記入にあたってのお願い

1. ご記入は鉛筆、ボールペン、万年筆など（黒または青色）でお書きください。
2. 最初から1問ずつ、全ての質問にお答えください。
3. お答えは、貴事業所の考えに最も近いと思われる選択肢の番号に○をつけてください。
4. 「その他（ ）」に○をつけたときは、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入をいただきましたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れて **10月16日(水)** までに、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

この調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いします。

越谷市 市長公室 政策課

電話 048-963-9112 (直通) FAX 048-965-6433

E-mail : seisaku@city.koshigaya.lg.jp

越谷市 都市整備部 都市計画課

電話 048-963-9221 (直通) FAX 048-965-0948

E-mail : toshikei@city.koshigaya.lg.jp

事業所の基本的なことについておたずねします

問1 事業所の業種を教えてください。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 建設業 | 6. 金融・保険業 |
| 2. 製造業 | 7. 不動産業 |
| 3. 電気・ガス・水道業 | 8. サービス業 |
| 4. 運輸・通信業 | 9. その他 [|
| 5. 卸売・小売業 | |

問2 事業所の形態を教えてください。(1つに○)

1. 単独事業所
2. 本社・本店（他に支社・支店・営業所・工場などがある）
3. 支社・支店・営業所・工場（他に本社・本店がある）

問3 事業所の従業員数（パート・アルバイト含む）を教えてください。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 10人未満 | 6. 100人～200人未満 |
| 2. 10人～20人未満 | 7. 200人～300人未満 |
| 3. 20人～30人未満 | 8. 300人～500人未満 |
| 4. 30人～50人未満 | 9. 500人～1,000人未満 |
| 5. 50人～100人未満 | 10. 1,000人以上 |

問4 事業所の所在地を教えてください。(1つに○)

※別添の「地区該当町表（「事業所アンケート調査ご協力のお願い」の裏面）をご参照ください。

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. 桜井地区 | 6. 出羽地区 | 11. 北越谷地区 |
| 2. 新方地区 | 7. 蒲生地区 | 12. 越ヶ谷地区 |
| 3. 増林地区 | 8. 川柳地区 | 13. 南越谷地区 |
| 4. 大袋地区 | 9. 大相模地区 | |
| 5. 荻島地区 | 10. 大沢地区 | |

問5 事業所の市内での操業（営業）年数を教えてください。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 5. 15年～20年未満 |
| 2. 3年～5年未満 | 6. 20年～30年未満 |
| 3. 5年～10年未満 | 7. 30年～50年未満 |
| 4. 10年～15年未満 | 8. 50年以上 |

事業を行ううえでの立地条件についておたずねします。

問 6-1 本市は事業が行いやすい地域だと思いますか。(1つに○)

1. そう思う 2. 分からない 3. そう思わない

問 6-2 「問 6-1」で答えた理由を教えてください。(下の枠内に記入してください。)

理由：

問 7-1 今後も今の場所で事業を続けたいと思いますか。(1つに○)

1. 今後も続けたい 4. できれば場所を変えたい
2. できれば続けたい 5. すぐにでも場所を変えたい
3. 分からない

問 7-2 「問 7-1」で答えた理由を教えてください。(下の枠内に記入してください。)

理由：

事業活動についておたずねします

問 8 越谷市内において事業を行ううえで、次の項目についてどのように感じていますか。

感じ方に一番近いものを1～5の中からお選びください。(1つずつ○)

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない
ア 鉄道、バスなどの公共交通が充実している	1	2	3	4	5
イ 道路・交通網が整備されている	1	2	3	4	5
ウ 従業員の確保がしやすい	1	2	3	4	5
エ 関連企業が集積している	1	2	3	4	5
オ 原材料や部品、商品の入手がしやすい	1	2	3	4	5

問 9 事業に取り組まれている中で感じる「越谷市の強み(良い点、生かすべき点)」、「弱み(悪い点、改善が必要な点)」があれば教えてください。

(下の枠内に記入してください。)

越谷市の強み(良い点、生かすべき点):	越谷市の弱み(悪い点、改善が必要な点):

問 10 将来、よりよいまちづくりを進めるため、「越谷市の強み」を生かしたり、「越谷市の弱み」を解決するために、事業所として現在取り組んでいること、これから取り組みたいことはありますか。(下の枠内に記入してください。)

まちの将来像についておたずねします

問11 10年後、20年後の越谷市がどのようなイメージのまちになれば良いと思えますか。(3つまで○)

1. 誰もが利用しやすい、交通サービスが充実したまち
2. 水辺や緑など自然環境の良いまち
3. 歴史のおもかげと新しい文化が融合したまち
4. 産業活動が活発で、雇用環境が充実したまち
5. 日常的に買い物やグルメが楽しめるまち
6. 多くの人が訪れる観光のまち
7. 子育てしやすく教育環境が良いまち
8. 医療機関や保健サービスが充実したまち
9. 高齢者や障がい者などに優しい福祉環境が整ったまち
10. 生涯学習施設や文化施設が充実したまち
11. 地震、水害、火災などに備えた災害に強いまち
12. 防犯、交通安全の取り組みが充実したまち
13. 道路、河川、下水道、公園などの都市施設が充実したまち
14. 地域コミュニティが形成され、住民活動が活発なまち
15. その他 ()

問12 越谷市のまちづくりについて、ご意見やご提案(アイデア)等お持ちでしたら教えてください。(下の枠内に記入してください。)

.....

.....

.....

.....

.....

質問は以上です。お忙しいところご協力をいただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、10月16日(水)までに投函してください。

第5次越谷市総合振興計画の策定
越谷市都市計画マスタープランの改定に伴う
団体・事業所アンケート調査報告書

発行年月：令和元年11月
発行：越谷市 市長公室 政策課
都市整備部 都市計画課
〒343-8501
埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電話 048-963-9112 (政策課直通)
048-963-9221 (都市計画課直通)